

■日時：11月30日(月) 8:30~9:30

■会場：第1会場(東京ドームホテル  
B1F 天空ノース)

## 01 基礎：分子疫学・構造

座長 横山 勝

(国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター)

椎野禎一郎

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

### 01-001 国内感染者集団の大規模塩基配列解析に見るMSM伝播ネットワークの感染拡大パターン

椎野禎一郎<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>3)</sup>、  
吉田 繁<sup>4)</sup>、石ヶ坪良明<sup>5)</sup>、近藤真規子<sup>6)</sup>、  
貞升健志<sup>7)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>、古賀道子<sup>8)</sup>、  
中谷安宏<sup>9)</sup>、田邊嘉也<sup>10)</sup>、渡邊 大<sup>11)</sup>、  
森 治代<sup>12)</sup>、南 留美<sup>13)</sup>、健山正男<sup>14)</sup>、  
杉浦 互<sup>15)</sup>、吉村和久<sup>1)</sup>

- 1) 国立感染症研究所感染症疫学センター
- 2) 名古屋医療センター臨床研究センター
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 4) 北海道大学
- 5) 横浜市立大学
- 6) 神奈川県衛生研究所
- 7) 東京都健康安全研究センター
- 8) 東京大学医科学研究所
- 9) 石川県立中央病院
- 10) 新潟大学医歯学総合病院
- 11) 大阪医療センター
- 12) 大阪府立公衆衛生研究所
- 13) 九州医療センター
- 14) 琉球大学
- 15) グラクソ・スミスクライン

### 01-002 $p6^{696}$ および $pol/vif$ 遺伝子に特徴的変異を持つ新型変異 HIV-1 の流行状況

森 治代<sup>1)</sup>、小島洋子<sup>1)</sup>、川畑拓也<sup>1)</sup>、  
駒野 淳<sup>2)</sup>

- 1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
- 2) 名古屋医療センター

### 01-003 東アジア地域における組換え型流行株(CRF)の多発的新生：MSM間の流行拡大のインパクト

武部 豊<sup>1,2,3,4)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 中国医科大学・エイズ研究センター
- 3) 中国CDC・国立AIDS/STD予防制圧センター
- 4) マラヤ大学医学部エイズ研究中核拠点 (Center of Excellence for Research in AIDS, CERiA)

### 01-004 HIV-1 感染急性期における病勢特異的な血中バイオマーカーの探索

重見 麗<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、  
今村淳治<sup>1)</sup>、渡邊綱正<sup>1,2)</sup>、健山正男<sup>3)</sup>、  
今村顕史<sup>4)</sup>、柳澤邦雄<sup>5)</sup>、矢野邦夫<sup>6)</sup>、  
藤井輝久<sup>7)</sup>、上田敦久<sup>8)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、  
杉浦 互<sup>1,9)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,10)</sup>

- 1) 名古屋医療センター
- 2) 聖マリアンナ医科大学消化器・肝臓内科
- 3) 琉球大学大学院医学研究科
- 4) 東京都立駒込病院
- 5) 群馬大学医学部附属病院
- 6) 浜松医療センター
- 7) 広島大学病院
- 8) 横浜市立大学付属病院
- 9) グラクソ・スミスクライン
- 10) 名古屋大学大学院医学系研究科

### 01-005 X線結晶構造解析によるHIV-1 Vprのimportin- $\alpha$ への結合機構の解析

宮武秀行<sup>1)</sup>、三城 明<sup>2)</sup>、村上知行<sup>3)</sup>、  
村上裕信<sup>3)</sup>、松田 剛<sup>3)</sup>、萩原恭二<sup>3)</sup>、  
横山 勝<sup>4)</sup>、佐藤裕徳<sup>4)</sup>、宮本洋一<sup>5)</sup>、  
堂前 直<sup>6)</sup>、間 陽子<sup>3)</sup>

- 1) 理化学研究所伊藤ナノ工医学研究室
- 2) (株)プロテインウエーブ
- 3) 理化学研究所分子ウイルス学特別研究ユニット
- 4) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
- 5) 医薬基盤・健康・栄養研究所
- 6) 理化学研究所環境資源研究センター技術基盤部門生命分子解析ユニット

### 01-006 抗体中和抵抗性 gp120 構造を維持するGlycan shieldの分子メカニズム

横山 勝、佐藤裕徳

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

■日時：11月30日(月) 9:30~10:30

■会場：第1会場(東京ドームホテル  
B1F 天空ノース)

## 02 基礎：アクセサリ遺伝子

座長 岩谷靖雅

(名古屋医療センター臨床研究センター)

野間口雅子

(徳島大学大学院医歯薬学研究部微生物病原学分野)

### 02-007 HIV-1 Nefによるウイルスレセプター発現抑制と重複感染の制御

豊田真子<sup>1)</sup>、前田洋助<sup>2)</sup>、上野貴将<sup>1,3)</sup>

- 1) 熊本大学エイズ学センター
- 2) 熊本大学生命科学研究部
- 3) 熊本大学国際先端医学研究機構

## O2-008 APOBEC3G のアセチル化修飾と機能調節

福田寛文<sup>1)</sup>、松井佑亮<sup>1)</sup>、白川康太郎<sup>1)</sup>、  
和田典也<sup>1)</sup>、宮川 敬<sup>2)</sup>、梁 明秀<sup>2)</sup>、  
高折晃史<sup>1)</sup>

1) 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科  
2) 横浜市立大学医学部微生物学

## O2-009 Vif の誘導する細胞周期 G2 停止機構の探求

永田佳代子、新堂啓祐、松井佑亮、  
白川康太郎、小林正行、高折晃史

京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科

## O2-010 SAMHD1 分解における HIV-2 Vpx C 末端ポリプロリンモチーフの役割

藤田美歌子<sup>1)</sup>、Halil Ibrahim Ciftci<sup>2)</sup>、  
藤野悠那<sup>2)</sup>、古賀涼子<sup>2)</sup>、山本充奈美<sup>2)</sup>、  
大塚雅巳<sup>2)</sup>

1) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター  
2) 熊本大学大学院生命科学部研究部生体機能分子合成学  
分野

## O2-011 A new mechanism of HIV-1 Vpr to counteract the effects of TSG101 overexpression on Gag degradation and virus production impair

Nopporn Chutiwitoonchai<sup>1)</sup>、  
武田英里<sup>2)</sup>、塩田達雄<sup>2)</sup>、間 陽子<sup>1)</sup>

1) 理化学研究所分子ウイルス学特別研究ユニット  
2) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

## O2-012 HIV-1 Vpr を標的とした新規抗 HIV 治療薬の探索

佐藤洋隆<sup>1)</sup>、安倍昌子<sup>2)</sup>、大貫哲男<sup>2)</sup>、  
黒田和道<sup>3)</sup>、長澤洋介<sup>4)</sup>、武井正美<sup>4)</sup>、  
山本樹生<sup>5)</sup>、吉田 稔<sup>2)</sup>、間 陽子<sup>1)</sup>

1) 理化学研究所分子ウイルス学特別研究ユニット  
2) 理化学研究所創薬シード化合物探索基盤ユニット  
3) 日本大学医学部病態病理学系微生物学分野  
4) 日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野  
5) 日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野

■日時：11月30日(月) 10:30~11:30

■会場：第1会場(東京ドームホテル  
B1F 天空ノース)

## O3 基礎：免疫・動物モデル

座長 桑田岳夫

(熊本大学エイズ学研究センター)

山本拓也

(医薬基盤・健康・栄養研究所)

## O3-013 新型変異 HIV のウイルス学的解析

藤野真之<sup>1)</sup>、引地優太<sup>1,2)</sup>、森 治代<sup>3)</sup>、  
小島洋子<sup>3)</sup>、川畑拓也<sup>3)</sup>、俣野哲朗<sup>1,2)</sup>、  
駒野 淳<sup>4)</sup>、村上 努<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
2) 東京大学医科学研究所  
3) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課  
4) 名古屋医療センター

## O3-014 CD163 陽性細胞は高病原性 SHIV 感染サルの治療下におけるウイルス RNA 陽性細胞である

渡部祐司<sup>1,2)</sup>、岩見真吾<sup>3)</sup>、松浦嘉奈子<sup>1)</sup>、  
森ひろみ<sup>1)</sup>、日紫喜隆行<sup>1)</sup>、三浦智行<sup>1)</sup>、  
明里宏文<sup>2)</sup>、五十嵐樹彦<sup>1)</sup>

1) 京都大学ウイルス研究所霊長類モデル研究領域  
2) 京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター  
3) 九州大学理学研究院生物科学部門数理生物学教室

## O3-015 ベトナム人 HIV-1 感染者に見られる HIV-1 感染制御に関与した HIV-1 特異的細胞傷害性 T 細胞

田村美子<sup>1)</sup>、村越勇人<sup>1)</sup>、丸山理恵<sup>1)</sup>、  
Hoai Nguyen Dung<sup>2)</sup>、  
Van Giang Tran<sup>2)</sup>、赤星智寛<sup>1)</sup>、  
久世 望<sup>1)</sup>、近田貴敬<sup>1)</sup>、阪井恵子<sup>1)</sup>、  
小柳 円<sup>1)</sup>、酒井幸子<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>、  
Van Nguyen Kinh<sup>2)</sup>、滝口雅文<sup>1,4)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター滝口プロジェクト研究室  
2) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam  
3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター  
4) International Research Center for Medical Sciences, Kumamoto University

**O3-016** ベトナム人慢性 HIV-1 感染者における HIV-1 特異的細胞傷害性 T 細胞の網羅的解析

村越勇人<sup>1)</sup>、田村美子<sup>1)</sup>、丸山理恵<sup>1)</sup>、  
Dung Nguyen Hoai<sup>2)</sup>、  
Giang Tran Van<sup>1)</sup>、赤星智寛<sup>1)</sup>、  
久世 望<sup>1)</sup>、近田貴敬<sup>1)</sup>、阪井恵子<sup>1)</sup>、  
小柳 円<sup>1)</sup>、酒井幸子<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>、  
Kinh Nguyen Van<sup>2)</sup>、滝口雅文<sup>1,4)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター滝口プロジェクト研究室

2) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam

3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

4) International Research Center for Medical Sciences, Kumamoto University

**O3-017** Effect of gp41 mutations on the sensitivity to neutralizing antibodies against HIV-1

Muntasir Alam<sup>1)</sup>、Takeo Kuwata<sup>1)</sup>、  
Kristel Ramirez<sup>1)</sup>、Yasuhiro Maruta<sup>1)</sup>、  
Kazuki Tanaka<sup>1)</sup>、Kazuya Shimura<sup>2)</sup>、  
Shinya Oishi<sup>3)</sup>、Nobutaka Fujii<sup>3)</sup>、  
Masao Matsuoka<sup>2)</sup>、  
Shuzo Matsushita<sup>1)</sup>

1) Matsushita Project Laboratory, Center for AIDS Research, Kumamoto University, Japan

2) Laboratory of Virus Control, Institute for Virus Research, Kyoto University, Japan

3) Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University, Japan

**O3-018** ファージ・ライブラリーを用いた抗 V3 単クローン抗体のエピトープ解析

平田 泉、桑田岳夫、丸田泰広、  
田中和樹、Alam Muntasir、松下修三

熊本大学エイズ学研究センター

■日時：11月30日(月) 11:30~12:00

■会場：第1会場(東京ドームホテル  
B1F 天空ノース)

**O4 基礎：薬剤耐性・新薬開発 1**

座長 蜂谷敦子

(名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部)

原田恵嘉

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

**O4-019** HIV-1 遺伝子産物ペプチドを基とするインテグラーゼ阻害剤の構造活性相関研究

宮木大輔<sup>1)</sup>、水口貴章<sup>1)</sup>、村上 努<sup>2)</sup>、  
野村 渉<sup>1)</sup>、玉村啓和<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所

2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

**O4-020** ラルテグラビル耐性症例における末梢血中 HIV-1 の遺伝子変異動態に関する解析

松田昌和<sup>1)</sup>、大出裕高<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>1)</sup>、  
横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>

1) 名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

2) 名古屋大学大学院医学系研究科

**O4-021** ドルテグラビル, リルピビルン, エルビテグラビルとラミブジン間での 2 剤の組合せによる in vitro 耐性分離試験結果の比較

吉永智一<sup>1)</sup>、三木 茂<sup>1)</sup>、関 貴弘<sup>1)</sup>、  
藤原民雄<sup>2)</sup>

1) 塩野義製薬株式会社コア疾患創薬研究所

2) 塩野義製薬株式会社グローバル医薬開発本部

# (一般演題) 口演

■日時：11月30日(月) 16:00~16:40

■会場：第1会場(東京ドームホテル  
B1F 天空ノース)

## 05 基礎：薬剤耐性・新薬開発2

座長 岡本実佳

(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター)

三隅将吾

(熊本大学大学院医学薬学研究部環境分子保健学分野)

■日時：11月30日(月) 16:40~17:20

■会場：第1会場(東京ドームホテル  
B1F 天空ノース)

## 06 基礎：薬剤耐性・新薬開発3

座長 天野将之

(熊本大学医学部附属病院血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部)

土屋亮人

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

### 05-022 新規 CD4 ミミックの創製と薬物動態解析

石田有佑<sup>1)</sup>、水口貴章<sup>1)</sup>、原田恵嘉<sup>2)</sup>、  
三浦智行<sup>3)</sup>、小谷みさと<sup>1)</sup>、山田裕子<sup>1,4)</sup>、  
苛原 優<sup>1)</sup>、野村 渉<sup>1)</sup>、松下修三<sup>5)</sup>、  
吉村和久<sup>2)</sup>、玉村啓和<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 2) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 3) 京都大学・ウイルス研究所
- 4) 慶應大学病院・薬剤部
- 5) 熊本大学・エイズ学研究センター

### 05-023 HIV-外被タンパク質 gp41 の断片ペプチド C34 二量体を基にした膜融合阻害剤の創製

本田柚子奈<sup>1)</sup>、野村 渉<sup>1)</sup>、藤野真之<sup>2)</sup>、  
村上 努<sup>2)</sup>、玉村啓和<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

### 05-024 CXCR4 阻害剤耐性変異が中和抗体感受性に及ぼす影響の解析

引地優太<sup>1,2)</sup>、横山 勝<sup>3)</sup>、竹村太地郎<sup>4)</sup>、  
藤野真之<sup>1)</sup>、熊倉 成<sup>5)</sup>、山本直樹<sup>6)</sup>、  
佐藤裕徳<sup>3)</sup>、俣野哲朗<sup>1,2)</sup>、村上 努<sup>1)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 東京大学医科学研究所
- 3) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
- 4) 長崎大学熱帯医学研究所
- 5) 株式会社クレハ
- 6) 国立シンガポール大学医学部

### 05-025 CD4 類似低分子化合物誘導体 (CD4 MCs) の耐性機序解析

原田恵嘉<sup>1)</sup>、横山 勝<sup>2)</sup>、佐藤裕徳<sup>2)</sup>、  
松下修三<sup>3)</sup>、俣野哲朗<sup>1,3)</sup>、玉村啓和<sup>4)</sup>、  
吉村和久<sup>1,3)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
- 3) 熊本大学エイズ学研究センター
- 4) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所生体機能分子研究部門

### 06-026 CDK9 阻害剤 FIT-039 の潜伏感染細胞における選択的な HIV-1 複製阻害効果

岡本実佳<sup>1)</sup>、日高朱美<sup>1)</sup>、外山政明<sup>1)</sup>、  
山本 誠<sup>2)</sup>、萩原正敏<sup>2)</sup>、馬場昌範<sup>1)</sup>

- 1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター
- 2) 京都大学大学院医学研究科形態形成機構学講座

### 06-027 HIV-1 カプシドタンパク質由来ペプチドライブラリーの構築と阻害剤の創出

谷田部夏香<sup>1)</sup>、松本大地<sup>1)</sup>、橋本知恵<sup>1)</sup>、  
藤野真之<sup>2)</sup>、水口貴章<sup>1)</sup>、大橋南美<sup>1)</sup>、  
野村 渉<sup>1)</sup>、村上 努<sup>2)</sup>、玉村啓和<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 2) 国立感染症研究所・エイズ研究センター

### 06-028 阻害剤を利用した HIV プロテアーゼ活性の検出

日高興士<sup>1)</sup>、木曾良明<sup>2)</sup>、津田裕子<sup>1)</sup>

- 1) 神戸学院大学薬学部
- 2) 長浜バイオ大学バイオサイエンス学部

### 06-029 新規 HIV-1 プロテアーゼ阻害剤 KU-241 の同定と抗 HIV 活性の検討

服部真一朗<sup>1)</sup>、青木 学<sup>2,3,4)</sup>、鎌田伸好<sup>1)</sup>、  
青木宏美<sup>2)</sup>、林 宏典<sup>1)</sup>、  
Arun K. Ghosh<sup>5)</sup>、前田賢次<sup>1)</sup>、  
満屋裕明<sup>1,2,3)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部
- 2) National Cancer Institute National Institute of Health
- 3) 熊本大学大学院生命科学部血液内科学・感染免疫診療部
- 4) 熊本保健科学大学医学検査学科
- 5) Department of Chemistry and Medicinal Chemistry Purdue University

■日時：11月30日(月) 8:30~9:30

■会場：第2会場(東京ドームホテル  
B1F 天空センター)

## 07 臨床：抗HIV療法1

座長 立川夏夫

(横浜国立大学市民病院感染症内科)

菊地 正

(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

07-030 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査—抗HIV薬の薬剤変更状況調査(2015年)

小島賢一<sup>1)</sup>、日笠 聡<sup>2)</sup>、桑原 健<sup>3)</sup>、  
山元泰之<sup>4)</sup>

- 1) 荻窪病院血液科
- 2) 兵庫医科大学血液内科
- 3) 国立循環器病研究センター薬剤部
- 4) 東京医科大学病院臨床検査医学科

07-031 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査—治療開始時の抗HIV薬処方動向調査(2015年)

日笠 聡<sup>1)</sup>、小島賢一<sup>2)</sup>、桑原 健<sup>3)</sup>、  
山元泰之<sup>4)</sup>

- 1) 兵庫医科大学血液内科
- 2) 荻窪病院血液科
- 3) 国立循環器病研究センター薬剤部
- 4) 東京医科大学臨床検査医学科

07-032 半固形化栄養剤を併用した経管栄養とcARTの粉碎注入の効果に関する検討

守屋千佳子<sup>1)</sup>、千葉里沙<sup>1)</sup>、鈴木剛史<sup>2)</sup>、  
原 伸子<sup>2)</sup>、前田卓哉<sup>3)</sup>、藤倉雄二<sup>3)</sup>、  
川名明彦<sup>3)</sup>、曾根原亘<sup>2)</sup>、小口康江<sup>1)</sup>、  
小林智恵子<sup>1)</sup>

- 1) 防衛医科大学校病院看護部
- 2) 防衛医科大学校病院薬剤部
- 3) 防衛医科大学校感染症・呼吸器内科

07-033 身体的・心因的な服薬不耐容のため頻回に抗ウイルス剤の変更を余儀なくされ、最終的にMVC/DTG 2剤併用が有効だった一症例

松浦基夫<sup>1)</sup>、那波みゆき<sup>2)</sup>、宇高 歩<sup>2)</sup>、  
三田洋子<sup>3)</sup>

- 1) 堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科
- 2) 堺市立総合医療センター薬剤科
- 3) 堺市立総合医療センター看護部

07-034 インテグラーゼ阻害剤および非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤併用の可能性に関する検討

吉村幸浩、坂本洋平、李 広烈、  
天野雄一郎、立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

07-035 東京医科大学病院におけるドルテグラビルの使用状況と有害事象について

関根祐介<sup>1)</sup>、平野智理<sup>1)</sup>、富樫英晶<sup>1)</sup>、  
金子亜希子<sup>1)</sup>、明石貴雄<sup>1)</sup>、中村 造<sup>2)</sup>、  
水野泰孝<sup>2)</sup>、鈴木隆史<sup>3)</sup>、山元泰之<sup>3)</sup>、  
天野景裕<sup>3)</sup>、福武勝幸<sup>3)</sup>

- 1) 東京医科大学病院薬剤部
- 2) 東京医科大学病院感染症科
- 3) 東京医科大学病院臨床検査医学科

■日時：11月30日(月) 9:30~10:30

■会場：第2会場(東京ドームホテル  
B1F 天空センター)

## 08 臨床：抗HIV療法2

座長 渡邊 大

(大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部)

宮川寿一

(熊本大学医学部附属病院血液内科・感染免疫診療部)

08-036 国立大阪医療センターでのドルテグラビル変更例における血清Cre変化に関する検討

湯川理己<sup>1,3)</sup>、渡邊 大<sup>1,2,3)</sup>、山本雄大<sup>1)</sup>、  
廣田和之<sup>1)</sup>、上地隆史<sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、  
笠井大介<sup>1)</sup>、西田恭治<sup>1)</sup>、上平朝子<sup>1)</sup>、  
白阪琢磨<sup>1,2,3)</sup>

- 1) 国立大阪医療センター感染症内科
- 2) 同臨床研究センターエイズ先端医療研究部
- 3) 大阪大学連携大学院エイズ先端医療学講座

08-037 当院におけるドルテグラビル変更後52週の安全性と有効性の検討

鈴木克典<sup>1,2)</sup>、真弓俊彦<sup>1,3)</sup>、稲村由香<sup>4)</sup>、  
寺本美江子<sup>1,5)</sup>、田中美佐子<sup>5)</sup>、  
曾我真千恵<sup>2)</sup>、齋藤和義<sup>2)</sup>、田中良哉<sup>2)</sup>

- 1) 産業医科大学病院感染制御部
- 2) 産業医科大学第一内科学
- 3) 産業医科大学救急医学
- 4) 産業医科大学病院薬剤部
- 5) 産業医科大学病院看護部

08-038 未治療 HIV 患者にドルテグラビルを使用した 3 試験のサブグループ解析：ドルテグラビルはベースラインウイルス量及び併用 NRTIs によらず、一貫した薬効を示す

藤原民雄<sup>1)</sup>、Granier CM<sup>2)</sup>、Cuffe R<sup>3)</sup>、Martin-Carpenter L<sup>4)</sup>、Smith K<sup>4)</sup>、Brennan C<sup>5)</sup>、Pappa K<sup>5)</sup>、Wynne B<sup>5)</sup>、Almond S<sup>6)</sup>、Givens N<sup>2)</sup>、Aboud M<sup>3)</sup>

- 1) 塩野義製薬株式会社 HIV Integrase Inhibitor Global Project
- 2) R&D, GlaxoSmithKline, Uxbridge, Middlesex, United Kingdom
- 3) ViiV Healthcare, London, United Kingdom
- 4) ViiV Healthcare, RTP, NC, United States
- 5) GlaxoSmithKline, RTP, NC, United States
- 6) GlaxoSmithKline, Mississauga, ON, Canada

08-039 軽度から中等度の腎機能障害がある HIV-1 感染症患者に E/C/F/TAF を投与した第 III 相臨床試験におけるアジア人での有効性及び安全性の評価

松下修三<sup>1)</sup>、中本泰充<sup>2)</sup>、池田篤史<sup>2)</sup>、Pozniak A<sup>3)</sup>、Arribas J<sup>4)</sup>、Gupta S<sup>5)</sup>、Post F<sup>6)</sup>、Fordyce M<sup>7)</sup>

- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
- 2) 日本たばこ産業株式会社
- 3) Chelsea and Westminster Hospital NHS Foundation Trust
- 4) Hospital Universitario La Paz
- 5) Indiana University School of Medicine
- 6) King's College Hospital NHS Foundation Trust
- 7) Gilead Sciences

08-040 抗 HIV 薬による治療経験のない HIV-1 感染症患者に E/C/F/TAF を 48 週間投与した第 III 相臨床試験におけるアジア人での有効性及び安全性の評価

瀧永博之<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>、中本泰充<sup>2)</sup>、池田篤史<sup>2)</sup>、Sax P<sup>3)</sup>、Wohl D<sup>4)</sup>、Yin M<sup>5)</sup>、Post F<sup>6)</sup>、Cheng A<sup>7)</sup>、Fordyce M<sup>7)</sup>、McCallister S<sup>7)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 日本たばこ産業株式会社
- 3) Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School
- 4) University of North Carolina
- 5) College of Physicians and Surgeons, Columbia University
- 6) King's College Hospital NHS Foundation Trust
- 7) Gilead Sciences

08-041 抗 HIV 薬による治療経験がありウイルス学的に抑制されている HIV-1 感染症患者に E/C/F/TAF を 48 週間投与した第 III 相臨床試験におけるアジア人での有効性及び安全性の評価

瀧永博之<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>、中本泰充<sup>2)</sup>、池田篤史<sup>2)</sup>、Mills A<sup>3)</sup>、Arribas J<sup>4)</sup>、Andrade J<sup>5)</sup>、DiPerri G<sup>6)</sup>、Van Lunzen J<sup>7)</sup>、Liu Y<sup>8)</sup>、Cheng A<sup>8)</sup>、McCallister S<sup>8)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 日本たばこ産業株式会社
- 3) Southern California Men's Medical Group
- 4) Hospital Universitario La Paz
- 5) Hospital Civil de Guadalajara
- 6) Comprensorio Amedeo De Savoia Birago Di Vische
- 7) Universitätsklinikum Hamburg Eppendorf
- 8) Gilead Sciences

■日時：11月30日(月) 10:30~11:20

■会場：第2会場(東京ドームホテル B1F 天空センター)

## 09 臨床：生活習慣 1

座長 古西 満

(奈良県立医科大学健康管理センター)

古賀一郎

(帝京大学医学部内科学講座)

09-042 HIV 感染患者の動脈硬化とその危険・予測因子の評価

宮川寿一、中田浩智、満屋裕明

熊本大学医学部附属病院血液内科・感染免疫診療部

09-043 HIV 感染者の骨量評価における定量的超音波骨量測定 (QUS) の臨床的意義

古西 満<sup>1,2)</sup>、宇野健司<sup>2)</sup>、治田匡平<sup>3)</sup>、青井博志<sup>3)</sup>、赤澤紫乃<sup>3)</sup>、谷口美苗<sup>4)</sup>、平田一記<sup>2)</sup>、平位暢康<sup>2)</sup>、小川吉彦<sup>2)</sup>、今井雄一郎<sup>2)</sup>、小川 拓<sup>2)</sup>、米川真輔<sup>2)</sup>、中村(内山) ふうみ<sup>2)</sup>、笠原 敬<sup>2)</sup>、三笠桂一<sup>2)</sup>

- 1) 奈良県立医科大学健康管理センター
- 2) 奈良県立医科大学感染症センター
- 3) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 4) 奈良県立医科大学附属病院看護部

**09-044 Cardio-ankle vascular index (CAVI) を用いた HIV 感染者の動脈硬化の評価とリスク因子の検討**

遠藤知之<sup>1)</sup>、宮下直洋<sup>1,2)</sup>、笠原耕平<sup>1,2)</sup>、渡部恵子<sup>3)</sup>、武内阿味<sup>2)</sup>、松川敏大<sup>1)</sup>、金谷 穰<sup>1)</sup>、小杉瑞葉<sup>1)</sup>、松岡里湖<sup>1)</sup>、後藤秀樹<sup>1)</sup>、杉田純一<sup>1)</sup>、小野澤真弘<sup>1)</sup>、橋本大吾<sup>1)</sup>、加畑 馨<sup>1)</sup>、藤本勝也<sup>1)</sup>、近藤 健<sup>1)</sup>、橋野 聡<sup>4)</sup>、豊嶋崇徳<sup>1)</sup>

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) エイズ予防財団
- 3) 北海道大学病院看護部
- 4) 北海道大学保健センター

**09-045 抗 HIV 療法を 10 年以上継続している症例の検討—地方病院における同一主治医による観察—**

鶴見 寿<sup>1,2)</sup>、石原正志<sup>2,3)</sup>、鶴見広美<sup>2)</sup>、渡邊珠代<sup>2)</sup>、山口公大<sup>1)</sup>、後藤尚絵<sup>1)</sup>

- 1) 岐阜大学医学部附属病院血液感染症内科
- 2) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部

**09-046 CONUT 法を用いた HIV 陽性者の栄養評価と病勢コントロールとの関連性**

河本菜津美<sup>1)</sup>、加藤久美子<sup>1)</sup>、白野倫徳<sup>2)</sup>、後藤哲志<sup>2)</sup>、笠松 悠<sup>2)</sup>、豊島裕子<sup>3)</sup>、松本美由紀<sup>4)</sup>、市田裕之<sup>5)</sup>、羽生大記<sup>1)</sup>

- 1) 大阪市立大学生生活科学部
- 2) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 3) 大阪市立総合医療センター看護部
- 4) 大阪医療センター看護部
- 5) 大阪市立総合医療センター薬剤部

■日時：11月30日(月) 11:20~12:00

■会場：第2会場(東京ドームホテル B1F 天空センター)

**010 臨床：日和見感染 1**

座長 畠山修司

(自治医科大学附属病院総合診療内科・感染症科)

柴田 怜

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

**010-047 ART 時代における進行性多巣性白質脳症の臨床経過についての検討**

池内和彦<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、佐々木秀悟<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、三浦義治<sup>3)</sup>、味澤 篤<sup>1,4)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院脳神経内科
- 4) 東京都保健医療公社豊島病院

**010-048 HIV 感染合併ノカルジア症の臨床的検討**

柴田 怜、西島 健、照屋勝治、坪根基行、小林鉄郎、的野多加志、上村 悠、柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、青木孝弘、木内 英、本田元人、塚田訓久、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

**010-049 病理検査にて粘膜固有層に浸潤を認めた HIV 合併クリプトスポリジウム症の一例**

城戸康年<sup>1)</sup>、安達英輔<sup>1)</sup>、古川龍太郎<sup>2)</sup>、相野田祐介<sup>3)</sup>、福田直到<sup>1)</sup>、菊地 正<sup>1)</sup>、古賀道子<sup>1)</sup>、大田泰徳<sup>4)</sup>、平井由児<sup>3)</sup>、鯉淵智彦<sup>1)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) NTT東日本関東病院呼吸器内科
- 3) 東京女子医科大学病院感染症科
- 4) 東京大学医科学研究所附属病院病理部

**010-050 HIV 感染症に合併した悪性梅毒の 1 例**

古畑匡規<sup>1)</sup>、佐々木秀悟<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) 東京都立保健医療公社豊島病院

# (一般演題) 口演

■日時：11月30日(月) 16:00~16:40

■会場：第2会場(東京ドームホテル  
B1F 天空センター)

## 011 臨床：看護1

座長 高山次代

(石川県立中央病院)

東 政美

(大阪医療センター看護部)

011-051 エイズ診療拠点病院 HIV 担当看護師に対する支援の検討「HIV/AIDS 看護体制に関する調査」結果から(その2)~患者からの相談と課題、支援ニーズについて~

長與由紀子<sup>1)</sup>、城崎真弓<sup>1)</sup>、小川良子<sup>2)</sup>、城下由衣<sup>2)</sup>、木下一枝<sup>2)</sup>、池田有里<sup>2)</sup>、渡部恵子<sup>3)</sup>、武内阿味<sup>3)</sup>、大野稔子<sup>3)</sup>、成田月子<sup>3)</sup>、杉野祐子<sup>4)</sup>、伊藤ひとみ<sup>5)</sup>、川口 玲<sup>6)</sup>、高山次代<sup>7)</sup>、羽柴知恵子<sup>8)</sup>、下司有加<sup>9)</sup>、大金美和<sup>4)</sup>、池田和子<sup>4)</sup>

- 1) NHO九州医療センター
- 2) 広島大学病院
- 3) 北海道大学病院
- 4) 国立国際医療研究センター病院
- 5) NHO仙台医療センター
- 6) 新潟大学医歯学総合病院
- 7) 石川県立中央病院
- 8) NHO名古屋医療センター
- 9) NHO大阪医療センター

011-052 エイズ診療拠点病院 HIV 担当看護師に対する支援の検討「HIV/AIDS 看護体制に関する調査」結果から(その1)~患者ケア実施に関する現状と課題~

小川良子<sup>1)</sup>、城下由衣<sup>1)</sup>、木下一枝<sup>1)</sup>、池田有里<sup>1)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、渡部恵子<sup>3)</sup>、武内阿味<sup>3)</sup>、大野稔子<sup>3)</sup>、成田月子<sup>3)</sup>、杉野祐子<sup>4)</sup>、伊藤ひとみ<sup>5)</sup>、川口 玲<sup>6)</sup>、高山次代<sup>7)</sup>、羽柴知恵子<sup>8)</sup>、下司有加<sup>9)</sup>、大金美和<sup>4)</sup>、池田和子<sup>4)</sup>

- 1) 広島大学病院
- 2) NHO九州医療センター
- 3) 北海道大学病院
- 4) 国立国際医療研究センター病院
- 5) NHO仙台医療センター
- 6) 新潟大学医歯学総合病院
- 7) 石川県立中央病院
- 8) NHO名古屋医療センター
- 9) NHO大阪医療センター

011-053 米子医療センターにおける HIV/AIDS 患者への看護支援を考える~QOL 調査結果と患者背景からの検討~

作野真澄、浜田のぞみ、新田ひとみ、中崎清未、岡本あゆ美、布施道代、東森昌江

米子医療センター

011-054 HIV 患者の支援者を対象とした外来相談活動の検討

宮林優子、寺澤美穂

横浜市立市民病院

■日時：11月30日(月) 16:40~17:20

■会場：第2会場(東京ドームホテル  
B1F 天空センター)

## 012 臨床：看護2

座長 宮城京子

(琉球大学医学部附属病院看護部)

渡部恵子

(北海道大学病院看護部)

012-055 HIV/AIDS 不定期受診患者の傾向と効果的な受診継続支援の検討

城下由衣<sup>1)</sup>、小川良子<sup>2)</sup>、池田有里<sup>2)</sup>、木下一枝<sup>2)</sup>、藤井輝久<sup>3)</sup>、齊藤誠司<sup>3)</sup>、山崎尚也<sup>3)</sup>、喜花伸子<sup>1)</sup>、浅井いづみ<sup>1)</sup>、金崎慶大<sup>1)</sup>、藤井健司<sup>4)</sup>、藤田啓子<sup>4)</sup>、畝井浩子<sup>4)</sup>、高田 昇<sup>5)</sup>

- 1) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院看護部
- 3) 広島大学病院輸血部
- 4) 広島大学病院薬剤部
- 5) 広島文化学園大学看護学部

012-056 HIV 陽性受刑者の出所後の治療継続支援

関さく江<sup>1)</sup>、藤川祐子<sup>2)</sup>、宮島寛幸<sup>1)</sup>、武川 正<sup>1)</sup>、山崎 喬<sup>1)</sup>、西澤美佳子<sup>1)</sup>、北山理恵<sup>1)</sup>、堤 彰子<sup>1)</sup>、中島恵利子<sup>1)</sup>、齊藤 博<sup>1)</sup>、山崎善隆<sup>1)</sup>

- 1) 長野県立須坂病院
- 2) 東北大学大学院医学系研究科感染制御・検査診療学分野



# (一般演題) 口演

012-057 A 外来の外国人 HIV 患者への看護支援～通訳者への積極的介入を行った一事例を通して～

村上則子、宮越郁子、多羽田直実、白井佐恵子、杉山ひかる、佐々木祐子、松田幸恵、最上いくみ、菅原ひろみ

札幌医科大学附属病院

012-058 HIV/AIDS 医療の組織化における慢性疾患看護専門看護師の活動の現状と課題

高橋 恵<sup>1)</sup>、林 俊誠<sup>2)</sup>

1) 日本赤十字社前橋赤十字病院看護部  
2) 前橋赤十字病院感染症内科

■日時：11月30日(月) 8:30～9:20

■会場：第3会場(東京ドームホテル B1F 天空サウス)

## 013 社会：政策 1

座長 横幕能行

(名古屋医療センターエイズ治療開発センター)

城所敏英

(東京都島しょ保健所)

013-059 エイズ診療中核拠点病院と地域の医療・看護・介護施設との連携への取り組み

高木雅敏<sup>1)</sup>、武村記枝<sup>1)</sup>、植野里織<sup>1)</sup>、上田直美<sup>1)</sup>、塘田貴代美<sup>1)</sup>、中田浩智<sup>2)</sup>、宮川寿一<sup>2)</sup>、松下 修<sup>3)</sup>、満屋裕明<sup>2)</sup>

1) 熊本大学医学部附属病院血液内科  
2) 熊本大学医学部附属病院感染免疫診療科  
3) 熊本大学エイズ学術研究センター

013-060 地域社会における包括的 HIV ケアを目指した群馬県エイズ診療拠点・協力病院アンケート調査

柳澤邦雄<sup>1)</sup>、小川孔幸<sup>1)</sup>、干川孔明<sup>2)</sup>、田子明弘<sup>2)</sup>、川島 崇<sup>3)</sup>、合田 史<sup>4)</sup>、林 俊誠<sup>5)</sup>、澤村守夫<sup>6)</sup>、内海英貴<sup>1)</sup>、半田 寛<sup>1)</sup>、野島美久<sup>1)</sup>、田村遵一<sup>2,7)</sup>

1) 群馬大学医学部附属病院血液内科/群馬大学大学院医学系研究科生体統御内科  
2) 群馬県健康福祉部保健予防課感染症対策係  
3) 群馬県医師会(感染症対策)  
4) 高崎総合医療センター総合診療科  
5) 前橋赤十字病院感染症内科  
6) 西群馬病院血液内科  
7) 群馬大学医学部附属病院総合診療部

013-061 首都圏近郊に位置するエイズ治療拠点病院に求められる役割(第2報)(5年間の活動報告)

松永伸一<sup>1,2)</sup>、土谷良樹<sup>1)</sup>、武田悟秋<sup>1)</sup>、井川千恵子<sup>1)</sup>、角南直美<sup>3)</sup>、柳田月美<sup>1)</sup>

1) 東京勤労者医療会東葛病院  
2) みさと健和病院  
3) わかば薬局

013-062 診療所における HIV 感染症診療の試み—8

根岸昌功<sup>1)</sup>、南宮 湖<sup>1,2)</sup>、荒井祐貴子<sup>1)</sup>、織田幸子<sup>1)</sup>、西岡春菜<sup>1)</sup>、木村リエ<sup>1)</sup>

1) ねざし内科診療所  
2) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科

013-063 長期入院療養から在宅療養へ～長期化する HIV 感染症入院に対するアプローチ  
外島正樹

自治医科大学臨床感染症センター感染症科

■日時：11月30日(月) 9:20～10:10

■会場：第3会場(東京ドームホテル B1F 天空サウス)

## 014 社会：カウンセリング 1

座長 矢永由里子

(慶應義塾大学医学部感染制御センター)

小松賢亮

(国立国際医療研究センターエイズ治療研究・開発センター)

014-064 HIV 医療における心理検査の実施と課題の検討—医師・看護師へのアンケート調査より—

山中京子<sup>1)</sup>、辻麻理子<sup>2)</sup>、阪木淳子<sup>2,9)</sup>、松岡亜由子<sup>3)</sup>、塚本琢也<sup>4,9)</sup>、渡邊愛祈<sup>5,9)</sup>、小松賢亮<sup>5,9)</sup>、仲里 愛<sup>5,9)</sup>、北志保里<sup>6,9)</sup>、森田真子<sup>7)</sup>、浅井いづみ<sup>8)</sup>

1) 大阪府立大学  
2) 九州医療センター  
3) 名古屋医療センター  
4) 仙台医療センター  
5) 国立国際医療研究センター病院  
6) 石川県立中央病院  
7) 大阪医療センター  
8) 広島大学病院  
9) エイズ予防財団

- 014-065 HIV 領域で働く臨床心理士が初回面接において留意している事柄—HIV 領域における新人臨床心理士のための指標—

中川雄真

新潟大学医歯学総合病院

- 014-066 HIV 感染症患者における初診時のメンタルヘルス等の諸因子と、その後の受診中断の関連性に関する研究

西川歩美<sup>1,2)</sup>、安尾利彦<sup>1)</sup>、森田眞子<sup>1)</sup>、大谷ありさ<sup>1)</sup>、宮本哲雄<sup>1)</sup>、下司有加<sup>3)</sup>、白阪琢磨<sup>4)</sup>

- 1) 大阪医療センター臨床心理室
- 2) エイズ予防財団リサーチ・レジデント
- 3) 大阪医療センター看護部
- 4) 大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター

- 014-067 広島大学病院における HIV 感染患者に対するカウンセリング介入の現状と課題—受診行動と精神科受診歴との関連から—

浅井いづみ<sup>1,5)</sup>、喜花伸子<sup>1,2)</sup>、齊藤誠司<sup>1,2)</sup>、山崎尚也<sup>1,2)</sup>、小川良子<sup>3)</sup>、木下一枝<sup>3)</sup>、池田有里<sup>3)</sup>、城下由衣<sup>2,5)</sup>、金崎慶大<sup>2,5)</sup>、藤井輝久<sup>1,2)</sup>、高田昇<sup>4)</sup>

- 1) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院看護部
- 4) 広島文化学園大学看護学部
- 5) エイズ予防財団

- 014-068 中核拠点病院における中核相談事業およびチーム医療の円滑な実践 (グループインタビュー分析を通して)

高田知恵子<sup>1)</sup>、嶋 篤子<sup>2)</sup>、平塚信子<sup>3)</sup>、長浦由紀<sup>4)</sup>、加藤朋子<sup>5)</sup>、梅澤有美子<sup>6)</sup>、高橋義博<sup>7)</sup>、塚本琢也<sup>8)</sup>、山中京子<sup>9)</sup>

- 1) 秋田大学教育文化学部
- 2) 滋賀医科大学附属病院
- 3) 滋賀県
- 4) 長崎大学病院
- 5) 臨床心理士
- 6) 福井大学
- 7) 大館市立総合病院
- 8) 仙台医療センター
- 9) 大阪府立大学

■日時：11月30日(月) 10:10~11:00

■会場：第3会場(東京ドームホテル B1F 天空サウス)

## 015 社会: MSM1

座長 河口和也

(広島修道大学人文学部)

市川誠一

(人間環境大学大学院看護学研究科)

- 015-069 MSM の HIV 陽性者における性コントロール感有無とスティグマとの関連の検討

井上洋士<sup>1)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>1)</sup>、細川陸也<sup>2)</sup>、阿部桜子<sup>3)</sup>、板垣貴志<sup>4)</sup>、片倉直子<sup>6)</sup>、山内麻江<sup>5)</sup>、佐藤未光<sup>7)</sup>、高久陽介<sup>8)</sup>、矢島 嵩<sup>9)</sup>、若林チヒロ<sup>10)</sup>、大木幸子<sup>11)</sup>

- 1) 放送大学
- 2) 名古屋市立大学
- 3) TIS株式会社
- 4) アクセライト
- 5) 神戸市看護大学
- 6) 東京医科大学看護専門学校
- 7) 東新宿こころのクリニック
- 8) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 9) ぶれいす東京
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 杏林大学

- 015-070 個別認知行動面接の実践から MSM の HIV 予防を考える

古谷野淳子<sup>1)</sup>、松高由佳<sup>2)</sup>、桑野真澄<sup>3)</sup>、小松賢亮<sup>4)</sup>、長野 香<sup>5)</sup>、西川歩美<sup>6)</sup>、日高庸晴<sup>7)</sup>

- 1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部
- 2) 広島文教女子大学人間科学部心理学科
- 3) 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
- 4) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 5) SHIP
- 6) 大阪医療センター
- 7) 宝塚大学看護学部

- 015-071 コミュニティセンター akta を基点とするアウトリーチ活動の効果評価—アウトリーチ介入実施店舗と未実施店舗の比較—

木南拓也<sup>1,2)</sup>、岩橋恒太<sup>1,2)</sup>、荒木順子<sup>1,2)</sup>、佐久間久弘<sup>1,2)</sup>、大島 岳<sup>1)</sup>、金子典代<sup>3)</sup>、本間隆之<sup>4)</sup>、市川誠一<sup>5)</sup>

- 1) akta
- 2) エイズ予防財団
- 3) 名古屋市立大学
- 4) 山梨県立大学
- 5) 人間環境大学大学院

015-072 コミュニティを基盤とした組織(CBO)の受け入れとコミュニティ感覚—コミュニティセンター akta を基点とするアウトリーチの評価—

本間隆之<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>2,3)</sup>、木南拓也<sup>2,3)</sup>、  
荒木順子<sup>2,3)</sup>、佐久間久弘<sup>2,3)</sup>、大島 岳<sup>3)</sup>、  
金子典代<sup>4)</sup>、市川誠一<sup>5)</sup>

- 1) 山梨県立大学
- 2) エイズ予防財団
- 3) akta
- 4) 名古屋市立大学
- 5) 人間環境大学大学院

015-073 ゲイバーにおける MSM 向けワークショップ型介入プログラム「LIFE-GUARD 2014」

藤部荒術<sup>1)</sup>、嶋田憲司<sup>1)</sup>、河口和也<sup>2)</sup>、  
高嶋能文<sup>3)</sup>、飯塚信吾<sup>1)</sup>、太田昌二<sup>1)</sup>、  
橋本広志<sup>1)</sup>

- 1) 動くゲイとレズビアンのかい (アカー)
- 2) 広島修道大学
- 3) 社団めぐみ会自由が丘メディカルプラザ2小児科

■日時：11月30日(月) 11:00~11:30

■会場：第3会場(東京ドームホテル  
B1F 天空サウス)

## 016 社会：薬物依存

座長 肥田明日香

(アパリクリニック)

鎌倉光宏

(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)

016-074 HIV 陽性男性における薬物使用状況と抗HIV薬内服状況およびハイリスク性行動との関連

戸ヶ里泰典<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>1)</sup>、細川陸也<sup>2)</sup>、  
阿部桜子<sup>3)</sup>、板垣貴志<sup>4)</sup>、片倉直子<sup>5)</sup>、  
山内麻江<sup>6)</sup>、高久陽介<sup>7)</sup>、矢島 嵩<sup>7,8)</sup>、  
若林チヒロ<sup>9)</sup>、大木幸子<sup>10)</sup>

- 1) 放送大学
- 2) 名古屋市立大学
- 3) TIS
- 4) アクセライト
- 5) 神戸市看護大学
- 6) 東京医大看護専門学校
- 7) ジャンププラス
- 8) ぶれいす東京
- 9) 埼玉県立大学
- 10) 杏林大学

016-075 薬物政策のためのアドボカシーネットワーク (Japan Advocacy Network for Drug Policy) の構築

古藤吾郎<sup>1)</sup>、上岡陽江<sup>2)</sup>、山本 大<sup>3)</sup>、  
秋元恵一郎<sup>4)</sup>、高橋洋平<sup>5)</sup>

- 1) アジア太平洋地域アディクション研究所 (アパリ)
- 2) ダルク女性ハウス
- 3) 日本ダルクアウエイキングハウス
- 4) 東京ダルク
- 5) 高橋洋平法律事務所

016-076 薬物使用経験のある HIV 陽性 MSM の心理社会的要因—生態モデルによる分析から—

野坂祐子<sup>1,2)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>

- 1) 大阪大学大学院
- 2) ぶれいす東京

■日時：11月30日(月) 11:30~12:00

■会場：第3会場(東京ドームホテル  
B1F 天空サウス)

## 017 社会：疫学

座長 鎌倉光宏

(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)

肥田明日香

(アパリクリニック)

017-077 大阪市における HIV 合併結核の現状と患者管理に関する検討

松本健二、奥町彰礼、小向 潤、  
津田侑子、齊藤和美、清水直子、  
細井舞子、安井典子、青木理恵、廣川秀徹

大阪市保健所

017-078 HIV 陽性献血者における HIV-2 RNA の検出

蕎麦田理英子、松本千恵子、篠原直也、  
内田茂治、永井 正、佐竹正博、田所憲治

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

017-079 Real-time forecasting of HIV/AIDS epidemic in Japan

西浦 博

東京大学大学院医学系研究科

■日時：11月30日(月) 16:00~17:20

■会場：第3会場(東京ドームホテル  
B1F 天空サウス)

## 018 社会：陽性者支援

座長 葛田衣重

(東京医科大学病院総合相談・支援センター)

藤平輝明

(東京医科大学病院医療福祉相談室)

018-080 HIV 陽性者対象の質問紙調査回答経験の有無と関連する属性・特性に関する検討

鈴木達郎<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、板垣貴志<sup>1)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>2)</sup>、細川陸也<sup>3)</sup>、阿部桜子<sup>4)</sup>、片倉直子<sup>5)</sup>、山内麻江<sup>6)</sup>、高久陽介<sup>7)</sup>、矢島 嵩<sup>7,8)</sup>、若林子ヒロ<sup>9)</sup>、大木幸子<sup>10)</sup>

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 放送大学
- 3) 名古屋市立大学
- 4) NTT docomo
- 5) 神戸市看護大学
- 6) 東京医科大学看護専門学校
- 7) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 8) ぶれいす東京
- 9) 埼玉県立大学
- 10) 杏林大学

018-081 子どもを持つ HIV 陽性者の子育てへの思い

細川陸也<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>2)</sup>、阿部桜子<sup>3)</sup>、板垣貴志<sup>4)</sup>、片倉直子<sup>5)</sup>、山内麻江<sup>6)</sup>、高久陽介<sup>7)</sup>、矢島 嵩<sup>7,8)</sup>、若林子ヒロ<sup>9)</sup>、大木幸子<sup>10)</sup>

- 1) 名古屋市立大学
- 2) 放送大学
- 3) TIS株式会社
- 4) アクセライト
- 5) 神戸市看護大学
- 6) 東京医科大学看護専門学校
- 7) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 8) ぶれいす東京
- 9) 埼玉県立大学
- 10) 杏林大学

018-082 NPO による対面相談のニーズとその対応に関する考察

生島 嗣、牧原信也、福原寿弥

ぶれいす東京

018-083 新潟陽性者ピアミーティング「らっくら」取組報告

藏田 裕、三浦かおり

新潟大学医歯学総合病院

018-084 当院における当事者の自助グループの発足とその経過報告

古川夢乃<sup>1)</sup>、山下美津江<sup>2)</sup>、青野加奈子<sup>2)</sup>、北志保里<sup>1)</sup>、高山次代<sup>2)</sup>、中谷安宏<sup>2)</sup>

- 1) 石川県健康福祉部健康推進課
- 2) 石川県立中央病院

018-085 HIV 陽性者のためのピア・ミーティングの運営と当事者の運営参加に関する考察

佐藤郁夫、加藤力也、牧原信也、生島 嗣

ぶれいす東京

018-086 北里大学病院における HIV/AIDS 患者の就労状況について

加藤 笑<sup>1)</sup>、和田達彦<sup>2)</sup>、齊藤聡子<sup>1)</sup>、松山晃代<sup>1)</sup>、友田吉則<sup>3)</sup>、松本圭祐<sup>3)</sup>、前田景子<sup>4)</sup>、高山陽子<sup>5)</sup>

- 1) 北里大学病院
- 2) 北里大学医学部膠原病・感染内科
- 3) 北里大学病院薬剤部
- 4) 北里大学病院トータルサポートセンター
- 5) 北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門感染制御学

018-087 介護事業者への性的マイノリティおよび HIV 陽性者の受け入れ促進のための研修会

永易至文

パープル・ハンズ

■日時：11月30日(月) 8:30~9:20

■会場：第4会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアノース)

## 019 要望演題：創薬1

座長 杉浦 亙

(グラクソ・スミスクライン株式会社)

吉村和久

(国立感染症研究所・エイズ研究センター)

019-088 Elucidation of action mechanism of BMMP and synthesis of derivatives to improve its activity

Masahiro Kamo<sup>1)</sup>、Hiroshi Tateishi<sup>1)</sup>、  
Minami Yamamoto<sup>1)</sup>、  
Yoshinari Okamoto<sup>1)</sup>、  
Yuko Morikawa<sup>2)</sup>、Shogo Misumi<sup>3)</sup>、  
Masami Otsuka<sup>1)</sup>、Mikako Fujita<sup>4)</sup>

1) Department of Bioorganic Medicinal Chemistry, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University

2) Kitasato Institute for Life Sciences and Graduate School for Infection Control, Kitasato University

3) Department of Environmental and Molecular Health Sciences, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University

4) Research Institute for Drug Discovery, School of Pharmacy, Kumamoto University

019-089 Regulatory mechanism of HIV uncoating by MEK/ERK2 signaling cascade and exploring of a novel anti-HIV agent

Takeo Dochi<sup>1)</sup>、Ayano Akita<sup>1)</sup>、  
Nobutoki Takamune<sup>2)</sup>、  
Naoki Kishimoto<sup>3)</sup>、Shogo Misumi<sup>3)</sup>

1) Grad. Sch. Pharmaceut. Sci., Kumamoto Univ.

2) KICO., Kumamoto Univ.

3) Grad. Sch. Life Sci., Kumamoto Univ.

019-090 Development of small CD4 mimic molecules with a mono-cyclohexyl type group targeting HIV-1 gp120

Misato Kotani<sup>1)</sup>、Yu Irahara<sup>1)</sup>、  
Yusuke Ishida<sup>1)</sup>、  
Shigeyoshi Harada<sup>2)</sup>、Nami Ohashi<sup>1)</sup>、  
Yuko Yamada<sup>1,3)</sup>、  
Takaaki Mizuguchi<sup>1)</sup>、  
Tomoyuki Miura<sup>4)</sup>、Wataru Nomura<sup>1)</sup>、  
Shuzo Matsushita<sup>5)</sup>、  
Kazuhisa Yoshimura<sup>2)</sup>、  
Hirokazu Tamamura<sup>1)</sup>

1) Institute of Biomaterials and Bioengineering, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan

2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan

3) Pharmaceutical Department, Keio University Hospital, Tokyo, Japan

4) Institute for Virus Research, Kyoto University, Kyoto, Japan

5) Center for AIDS Research, Kumamoto University, Kumamoto, Japan

019-091 Development of novel nucleoside reverse transcriptase inhibitors active against 4'-ethynyl-2-fluoro-2'-deoxyadenosine (EFdA)-resistant HIV-1s

Kenji Maeda<sup>1,2)</sup>、Yuki Takamatsu<sup>2)</sup>、  
Satoru Kohgo<sup>1)</sup>、Debananda Das<sup>2)</sup>、  
Shinichiro Hattori<sup>1)</sup>、  
Simon B. Chang<sup>2)</sup>、Nicole S. Delino<sup>2)</sup>、  
Kazuhiro Haraguchi<sup>3)</sup>、  
Hiroaki Mitsuya<sup>1,2,4)</sup>

1) Research Institute & Center for Clinical Sciences, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan

2) Experimental Retrovirology Section, HIV and AIDS Malignancy Branch, National Cancer Institute, National Institutes of Health, Bethesda, MD, USA

3) Department of Pharmaceutical Sciences, Nihon Pharmaceutical University, Saitama, Japan

4) Departments of Hematology and Infectious Diseases, Kumamoto University Graduate School of Biomedical Sciences, Kumamoto, Japan

019-092 Design and synthesis of CD4 mimic molecules for improvement of pharmacokinetics

Takaaki Mizuguchi<sup>1)</sup>、Yu Irahara<sup>1)</sup>、  
Sigeyoshi Harada<sup>2)</sup>、  
Tomoyuki Miura<sup>3)</sup>、Misato Kotani<sup>1)</sup>、  
Yusuke Ishida<sup>1)</sup>、Yuko Yamada<sup>1,4)</sup>、  
Nami Ohashi<sup>1)</sup>、Wataru Nomura<sup>1)</sup>、  
Shuzo Matsushita<sup>5)</sup>、  
Kazuhisa Yoshimura<sup>2)</sup>、  
Hirokazu Tamamura<sup>1)</sup>

1) Institute of Biomaterials and Bioengineering, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan  
2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan  
3) Institute for Virus Research, Kyoto University, Kyoto, Japan  
4) Pharmaceutical Department, Keio University Hospital, Tokyo, Japan  
5) Center for AIDS Research, Kumamoto University, Kumamoto, Japan

■日時：11月30日(月) 9:20~10:00

■会場：第4会場(東京ドームホテル B1F シンシアノース)

## 020 要望演題：創薬2

座長 児玉栄一

(東北大学大学院医学系研究科宮城地域医療支援寄附講座)

前田賢次

(国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部レトロウイルス感染症研究室)

020-093 Novel protease inhibitors, which bind to protease's flap region, strongly inhibit multi-drug resistant HIV-1 variants including darunavir-resistant variants

Hironori Hayashi<sup>1,2)</sup>、Manabu Aoki<sup>2)</sup>、  
Ravikiran S. Yedidi<sup>2)</sup>、  
Hirotomo Nakata<sup>3)</sup>、  
Debananda Das<sup>2)</sup>、  
Teruya Nakamura<sup>4)</sup>、  
Kazuya Hasegawa<sup>5)</sup>、  
Yuriko Yamagata<sup>4)</sup>、Arun K. Ghosh<sup>6)</sup>、  
Hiroaki Mitsuya<sup>1,2,3)</sup>

1) Research Institute & Center for Clinical Sciences, National Center for Global Health and Medicine  
2) Experimental Retrovirology Section, HIV and AIDS Malignancy Branch, National Cancer Institute, National Institutes of Health  
3) Departments of Infectious Diseases and Hematology, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences  
4) Department of Structural Biology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kumamoto University  
5) Protein Crystal Analysis Division, Japan Synchrotron Radiation Research Institute  
6) Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University

020-094 Characterization of a new HIV integrase inhibitor resistance-associated secondary mutation, G149A.

Shigeru Miki、Takahiro Seki、  
Akihiko Sato、Tomokazu Yoshinaga、  
Tamio Fujiwara

Shionogi & Co., Ltd., Osaka, Japan

020-095 *In vitro* evaluation of the genotoxic potential of the novel anti-HIV protease inhibitor, KU-241, which is potent against multi-PI-Resistant HIV-1 variants

Nobuyo Higashi-Kuwata<sup>1)</sup>,  
Manabu Aoki<sup>1,2,4)</sup>, Shinichiro Hattori<sup>1)</sup>,  
Hiromi Ogata-Aoki<sup>2)</sup>,  
Hironori Hayashi<sup>1)</sup>, Kenji Maeda<sup>1)</sup>,  
Arun K. Ghosh<sup>5)</sup>, Hiroaki Mitsuya<sup>1,2,3)</sup>

1) Department of Refractory Viral Infection, Experimental Retrovirology Section, Research Institute & Center for Clinical Sciences, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan

2) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH, Bethesda, MD, USA

3) Departments of Hematology and Infectious Diseases, Kumamoto University Graduate School of Biomedical Sciences, Kumamoto, Japan

4) Kumamoto Health Sci. University, Kumamoto, Japan

5) Department of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University, IN, USA

020-096 Natural Polymorphism S119R of HIV-1 Integrase Enhances Primary INSTI Resistance

Atsuko Hachiya, Hirotaka Ode,  
Masakazu Matsuda, Yumiko Kito,  
Urara Shigemi, Kazuhiro Matsuoka,  
Junji Imamura, Yoshiyuki Yokomaku,  
Wataru Sugiura, Yasumasa Iwatani

Department of Infectious Disease and Immunology, Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center

■日時：11月30日(月) 10:00~10:40

■会場：第4会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアノース)

021 要望演題：国際1 アフリカ

座長 松岡佐織

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

上野貴将

(熊本大学エイズ学研究センター)

021-097 Molecular epidemiology of HIV in North Kivu Province, Democratic Republic of Congo

Eiji Ido<sup>1)</sup>, Stomy Karhemere<sup>2)</sup>,  
Joseph Kayumba<sup>3)</sup>,  
Joachim-Massa Mukedi<sup>3)</sup>,  
Steve Ahuka<sup>2)</sup>, Ishmael Aziati<sup>4)</sup>,  
Esinam Agbosu<sup>4)</sup>, James Brandful<sup>4)</sup>,  
Kentaro Ibuki<sup>5)</sup>,  
Jean-Jacques Muyembe<sup>2)</sup>

1) Tokyo Medical and Dental University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan

2) National Institute of Biomedical Research, Democratic Republic of Congo

3) General Hospital of Goma, North Kivu Province, Democratic Republic of Congo

4) Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana, Ghana

5) Kyoto University, Graduate School of Medicine, Japan

021-098 Low frequency of drug-resistant mutations against HIV protease inhibitors among patients receiving the first-line ART in Republic of Ghana

Eiji Ido<sup>1)</sup>, Jacob Barnor<sup>2)</sup>,  
Ishmael Aziati<sup>2)</sup>, Esinam Agbosu<sup>2)</sup>,  
James Brandful<sup>2)</sup>, William Ampofo<sup>2)</sup>,  
Samson Ofori<sup>3)</sup>,  
George Danquah-Dampney<sup>3)</sup>,  
Samuel Morton<sup>3)</sup>, Shoji Yamaoka<sup>1)</sup>

1) Tokyo Medical and Dental University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan

2) Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana, Ghana

3) Koforidua Regional Hospital, Ghana

021-099 Comparison of HIV-1 *nef* and *gag* Variations and Host HLA Characteristics as Determinants of Disease Progression among HIV-1 Vertically Infected Kenyan Children

Matilda Saina<sup>1)</sup>、Bi Xiuqiong<sup>1)</sup>、Raphael Lihana<sup>2)</sup>、Azumi Ishizaki<sup>1)</sup>、Hiroshi Ichimura<sup>1)</sup>

1) Kanazawa University, Graduate School of Medical Sciences  
2) Kenya Medical Research Institute

021-100 Prevalence of Entamoeba species in Kenyan children with and without HIV infection

Elizabeth Matey<sup>1,2)</sup>、Masaharu Tokoro<sup>3)</sup>、Takehiro Nagamoto<sup>3)</sup>、Tetsushi Mizuno<sup>3)</sup>、Bi Xiuqiong<sup>1)</sup>、E. M. Songok<sup>2)</sup>、Hiroshi Ichimura<sup>1)</sup>

1) Department of Viral Infection and International Health, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University  
2) Kenya Medical Research Institute  
3) Department of Parasitology, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University

■日時：11月30日(月) 10:40~11:10  
■会場：第4会場(東京ドームホテル B1F シンシアノース)

## 022 要望演題：国際2 ベトナム

座長 井戸栄治

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

市村 宏

(金沢大学医薬保健研究域医学系ウイルス感染症制御学分野)

022-101 High treatment retention rate in HIV-infected patients on antiretroviral therapy at two large HIV clinics in Hanoi, Vietnam

Shoko Matsumoto<sup>1)</sup>、Junko Tanuma<sup>1)</sup>、Daisuke Mizushima<sup>1)</sup>、Pham Thi Thanh Thuy<sup>2)</sup>、Kinh Van Nguyen<sup>3)</sup>、Shinichi Oka<sup>1)</sup>

1) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan  
2) Department of Infectious Diseases, Bach Mai Hospital, Hanoi, Vietnam  
3) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam

022-102 Sensitive detection of tenofovir-induced tubular injury with urinary  $\beta$ -2 microglobuline in Vietnam

Daisuke Mizushima<sup>1)</sup>、Shoko Matsumoto<sup>1)</sup>、Hiroyuki Gatanaga<sup>1,2)</sup>、Yoshimi Kikuchi<sup>1)</sup>、Kinh Nguyen<sup>3)</sup>、Shinichi Oka<sup>1,2)</sup>

1) National Center for Global Health and Medicine  
2) Kumamoto University  
3) National Hospital of Tropical Diseases

022-103 Genetic analyses of HIV-1 strains transmitted from mother to child in Northern Vietnam

Thi Thu Chung Phan、Bi Xiuqiong、Azumi Ishizaki、Saina Matilda、Hiroshi Ichimura

Kanazawa University, Graduate School of Medical Sciences

■日時：11月30日(月) 11:10~12:00

■会場：第4会場(東京ドームホテル B1F シンシアノース)

## 023 要望演題：国際3 モンゴル

座長 景山誠二

(鳥取大学医学部ウイルス学分野)

宮野真輔

(国立国際医療研究センター国際医療協力局)

023-104 CURRENT SITUATION OF HIV/AIDS IN MONGOLIA

Setsen Zayasaikhan、Sarantsetseg Amarsanaa、Oyunbeleg Bayandorj、Unenchimeg Puntsag、Davaalkham Jagdagsuren

AIDS/STI Surveillance and Research Department of the National Center for Communicable Disease



- 023-105 Studies on NGOs' HIV Prevention Activities for MSM (Men who have sex with men) in Mongolia  
Seiichi Ichikawa<sup>1)</sup>、Satoshi Shiono<sup>2)</sup>、Noriyo Kaneko<sup>2)</sup>、Michiko Takakku<sup>1)</sup>、Shinichi Oka<sup>3)</sup>、Myagmardorj Dorjgotov<sup>4)</sup>、Erdenetuya Gombo<sup>5)</sup>、Nyampurev Galsanjamts<sup>6)</sup>、Davaalkham Jagdagsuren<sup>7)</sup>  
1) University of Human Environments, Japan  
2) Nagoya City University, Japan  
3) AIDS Clinical Center National Center for Global Health and Medicine, Japan  
4) Youth for health center, Mongolia  
5) Together Center, Mongolia  
6) Human Rights Youth Support Center, Mongolia  
7) National Center for Communicable Disease, Mongolia

- 023-106 Community-Based MSM cohort in Ulaanbaatar with the finger vein authentication system  
Misao Takano<sup>1)</sup>、Erdenetuya Gombo<sup>2)</sup>、Setsen Zayasaikhan<sup>2)</sup>、Davaalkham Jagdagsuren<sup>2)</sup>、Masaya Sugiyama<sup>3)</sup>、Masasi Mizogami<sup>3)</sup>、Shinichi Oka<sup>4)</sup>  
1) National Center for Global Health and Medicine  
2) AIDS/STI surveillance and Research Department of the National Center for Communicable Disease, Mongolia  
3) The Research Center for Hepatitis and Immunology, Research Institute National Center for Global Health and Medicine  
4) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine

- 023-107 A Survey of Human Immunodeficiency Virus/Hepatitis B Virus Infection in a Men who have Sex with Men Cohort in Ulaanbaatar  
Masaya Sugiyama、Masashi Mizokami、Shinichi Oka  
National Center for Global Health and Medicine

- 023-108 Molecular Epidemiology of HIV-1 in Mongolia  
Naomi Kanayama<sup>1)</sup>、Setsen Zayasaikhan<sup>2)</sup>、Kiyoto Tsuchiya<sup>1)</sup>、Tsunefusa Hayashida<sup>1)</sup>、Yoshimi Kikuchi<sup>1)</sup>、Davaalkham Jagdagsuren<sup>2)</sup>、Hiroyuki Gatanaga<sup>1,3)</sup>、Shinichi Oka<sup>1,3)</sup>  
1) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine  
2) HIV/AIDS/STI Surveillance and Research Department, National Center for Communicable Diseases  
3) Division of Infectious Disease, Center for AIDS Research, Kumamoto University

■日時：11月30日(月) 8:30~9:30

■会場：第5会場(東京ドームホテル B1F シンシアサウス)

## 024 臨床：一般症例報告

- 座長 村松 崇  
(東京医科大学病院臨床検査医学科)  
水島大輔  
(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

- 024-109 「ベーチェット病」として経過フォロー中に PCP 発症にて AIDS と診断できた一例  
河合暦美、鳴河宗聡、山本善裕  
富山大学附属病院感染症科
- 024-110 特定生物由来製品使用後に HIV 抗体が陽転化し、Western Blot 法で判定保留となった偽陽性例：その原因と対応  
林 俊誠<sup>1)</sup>、高橋 恵<sup>2)</sup>  
1) 前橋赤十字病院感染症内科  
2) 前橋赤十字病院看護部
- 024-111 ニューモシスチス肺炎治療のみで軽快した著しい末梢血好酸球増多を伴う好酸球性肺炎合併 AIDS の一例  
森村 歩、笠松 悠、飯田 康、来住知美、白野倫徳、後藤哲志  
大阪市立総合医療センター

024-112 MSM の HIV 感染者において性行為による感染が推定された細菌性赤痢の症例

石尾瑛子、上久保淑子、大谷眞智子、  
近澤悠志、備後真登、村松 崇、  
清田育男、四本美保子、大瀧 学、  
萩原 剛、鈴木隆史、天野景裕、  
山元泰之、福武勝幸

東京医科大学病院臨床検査医学科

024-113 光線過敏性皮膚炎と著明な高 IgE 血症を呈した HIV 感染症の 1 例

藤友結美子<sup>1)</sup>、福盛勇介<sup>2)</sup>、児玉真衣<sup>1)</sup>、  
中西雅樹<sup>1)</sup>、藤田直久<sup>1)</sup>、小阪直史<sup>3)</sup>、  
辻森あゆみ<sup>4)</sup>

1) 京都府立医科大学附属病院感染症科  
2) 洛和会丸太町病院救急・総合診療科  
3) 京都府立医科大学附属病院薬剤部  
4) 京都府立医科大学附属病院医療サービス課

024-114 突然の両下肢麻痺を来し急激な経過を辿ったムーコル症合併 AIDS の 1 例

中田浩智<sup>1)</sup>、宮川寿一<sup>1)</sup>、山村綾子<sup>1)</sup>、  
上野志貴子<sup>1)</sup>、満屋裕明<sup>1,2)</sup>

1) 熊本大学医学部附属病院  
2) 国立国際医療研究センター臨床研究センター

■日時：11月30日(月) 9:30~10:20

■会場：第5会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアサウス)

## 025 臨床：副作用

座長 古賀道子

(東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野)

内藤俊夫

(順天堂大学医学部総合診療科)

025-115 ドルテグラビル開始後の推算糸球体ろ過量低下についての検討

日笠真一<sup>1)</sup>、秀田恭子<sup>1)</sup>、安田 恵<sup>2)</sup>、  
柳井美奈<sup>1)</sup>、木村 健<sup>1)</sup>、徳川多津子<sup>3)</sup>、  
澤田暁宏<sup>3)</sup>、日笠 聡<sup>3)</sup>

1) 兵庫医科大学病院薬剤部  
2) 兵庫医療大学薬学部  
3) 兵庫医科大学血液内科

025-116 TDF 服用による尿中  $\beta 2$  ミクログロブリンの高値と ABCC4 遺伝子の一塩基多型との相関

中山英美<sup>1)</sup>、Sirirat Likanonsakul<sup>2)</sup>、  
Bussakorn Suntisuklappon<sup>2)</sup>、  
Ravee Nitiyanontakij<sup>2)</sup>、  
Pimrapat Tengtrakulcharoen<sup>3)</sup>、  
Wisit Prasithsirikul<sup>2)</sup>、塩田達雄<sup>1,2)</sup>、  
Chariya Sangsajja<sup>2)</sup>

1) 大阪大学微生物病研究所  
2) Bamrasnaradura Infectious Diseases Institute, Thailand  
3) Mahidol University, Thailand

025-117 HIV 感染症患者におけるバルガンシクロビル投与時の臨床検査値の変化に関する調査

富島公介<sup>1)</sup>、櫛田宏幸<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>1)</sup>、  
山本雄大<sup>2)</sup>、湯川理己<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、  
伊熊素子<sup>2)</sup>、上地隆史<sup>2)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>2)</sup>、  
笠井大介<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>、西田恭治<sup>2)</sup>、  
上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>

1) 大阪医療センター薬剤部  
2) 大阪医療センター感染症内科

025-118 フルチカゾン点鼻とリトナビル併用によるクッシング症候群を発症した HIV 感染者の 1 例

深井真奈美<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、佐々木秀悟<sup>1)</sup>、  
関谷紀貴<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、  
今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科  
2) 同臨床検査科

025-119 日本人を含む世界の HLA-B\*57:01 分布について

宮崎有紀<sup>1)</sup>、楠木靖史<sup>1)</sup>、藤井康彦<sup>2)</sup>、  
林 晃司<sup>1)</sup>、二神貴臣<sup>1)</sup>、小島裕人<sup>1)</sup>、  
辻野貴史<sup>1)</sup>、藤井直樹<sup>1)</sup>、末上伸二<sup>1)</sup>、  
池田奈未<sup>1)</sup>、堀江友人<sup>1)</sup>、西川美年子<sup>1)</sup>、  
田中秀則<sup>1)</sup>、佐治博夫<sup>1)</sup>

1) HLA 研究所  
2) 山口大学医学部附属病院輸血部/再生細胞治療センター

■日時：11月30日(月) 10:20~11:10

■会場：第5会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアサウス)

## 026 臨床：服薬アドヒアランス

座長 井門敬子

(愛媛大学医学部附属病院薬剤部)

増田純一

(国立国際医療研究センター薬剤部)

026-120 当センターにおける初回抗 HIV 療法導入症例の検討

青木孝弘、坪井基行、小林鉄郎、  
的野多加志、上村 悠、柴田 怜、  
柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、  
西島 健、木内 英、本田元人、  
塚田訓久、照屋勝治、湯永博之、  
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

026-121 ART に対するアドヒアランスを低下させる因子の解析—アンケートの結果から—

大石裕樹<sup>1)</sup>、森本清香<sup>1)</sup>、西野 隆<sup>1)</sup>、  
城崎真弓<sup>3)</sup>、長與由紀子<sup>3)</sup>、辻麻理子<sup>2)</sup>、  
阪木淳子<sup>2)</sup>、犬丸真司<sup>3)</sup>、高濱宗一郎<sup>2)</sup>、  
南 留美<sup>2)</sup>、郭 悠<sup>2)</sup>、山本政弘<sup>2)</sup>

1) 九州医療センター薬剤部  
2) 九州医療センター免疫感染症科  
3) 九州医療センター看護部

026-122 Raltegravir と Lopinavir/Ritonavir による NRTI-sparing が著効した多剤耐性の 1 例

森 尚義<sup>1)</sup>、谷口晴記<sup>2)</sup>

1) 三重県立総合医療センター薬剤部  
2) 三重県立総合医療センター産婦人科

026-123 ドルテグラビル服用後の CD4 陽性リンパ球数の変化

下川千賀子<sup>1)</sup>、安田明子<sup>1)</sup>、辻 典子<sup>2)</sup>、  
柏原宏暢<sup>1)</sup>、中谷安宏<sup>3)</sup>

1) 石川県立中央病院薬剤部  
2) エイズ予防財団  
3) 石川県立中央病院免疫感染症科

026-124 広島大学病院における HIV 感染者が抱える精神疾患と受診行動への影響

齊藤誠司<sup>1,2)</sup>、山崎尚也<sup>1,2)</sup>、藤井輝久<sup>1,2)</sup>、  
城下由衣<sup>2,6)</sup>、小川良子<sup>3)</sup>、池田有里<sup>3)</sup>、  
浅井いづみ<sup>2,6)</sup>、喜花伸子<sup>2)</sup>、金崎慶大<sup>2,6)</sup>、  
藤井健司<sup>4)</sup>、藤田啓子<sup>4)</sup>、畝井浩子<sup>4)</sup>、  
高田 昇<sup>5)</sup>

1) 広島大学病院輸血部  
2) 広島大学病院エイズ医療対策室  
3) 広島大学病院看護部  
4) 広島大学病院薬剤部  
5) 広島文化学園大学看護学部  
6) エイズ予防財団

■日時：11月30日(月) 11:10~12:00

■会場：第5会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアサウス)

## 027 臨床：臨床薬理

座長 矢倉裕輝

(大阪医療センター薬剤部)

大石裕樹

(九州医療センター薬剤部)

027-125 日本人 HIV-1 感染症患者における 1 日 1 回ドルテグラビル投与時の血漿トラフ濃度に関する検討

矢倉裕輝<sup>1)</sup>、櫛田宏幸<sup>1)</sup>、富島公介<sup>1)</sup>、  
山本雄大<sup>2)</sup>、湯川理己<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、  
伊熊素子<sup>2)</sup>、上地隆史<sup>2)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>2)</sup>、  
笠井大介<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>、西田恭治<sup>2)</sup>、  
吉野宗宏<sup>3)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>

1) 大阪医療センター薬剤部  
2) 大阪医療センター感染症内科  
3) 姫路医療センター薬剤部

027-126 日本人 HIV 患者におけるドルテグラビル血中濃度の検討

大木桜子<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>2)</sup>、林田庸総<sup>2)</sup>、  
増田純一<sup>1)</sup>、湯永博之<sup>2)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、  
和泉啓司郎<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部  
2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

027-127 HIV 感染妊婦における dolutegravir 血中濃度の検討

尾崎淳子<sup>1)</sup>、小林正行<sup>2)</sup>、矢野育子<sup>1)</sup>、  
杉並 興<sup>3)</sup>、松原和夫<sup>1)</sup>、高折晃史<sup>2)</sup>

1) 京都大学医学部附属病院薬剤部  
2) 京都大学医学部附属病院血液・腫瘍内科  
3) 京都大学医学部附属病院産科・婦人科

027-128 ラットにおけるラルテグラビル髄液中濃度と脳内局在についての検討

土屋亮人<sup>1)</sup>、濱田哲暢<sup>2,3)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1,4)</sup>、瀧永博之<sup>1,4)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立がん研究センター先端医療開発センター臨床薬理TR分野
- 3) 熊本大学大学院医学教育腫瘍治療・トランスレーショナル学分野
- 4) 熊本大学エイズ学研究センター

027-129 キードラッグがテノホビルの血中濃度に及ぼす影響

櫛田宏幸<sup>1)</sup>、富島公介<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>1)</sup>、山本雄大<sup>2)</sup>、湯川理己<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、伊熊素子<sup>2)</sup>、上地隆史<sup>2)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>2)</sup>、笠井大介<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>、西田恭治<sup>2)</sup>、吉野宗宏<sup>3)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>

- 1) 大阪医療センター薬剤部
- 2) 大阪医療センター感染症内科
- 3) 姫路医療センター薬剤部

■日時：11月30日(月) 16:00~16:40

■会場：第5会場(東京ドームホテル B1F シンシアサウス)

028 臨床：その他 1

座長 味澤 篤

(東京都保健医療公社豊島病院)

齊藤誠司

(広島大学病院輸血部)

028-130 抗 HIV 療法でコントロールされている HIV 感染症患者の T リンパ球サブセットと免疫マーカー発現の検討

藤本勝也<sup>1)</sup>、小杉瑞葉<sup>1,2)</sup>、金谷 穰<sup>1)</sup>、笠原耕平<sup>1,5)</sup>、宮下直洋<sup>1,5)</sup>、後藤秀樹<sup>1,3)</sup>、杉田純一<sup>1)</sup>、小野澤真弘<sup>1)</sup>、橋本大吾<sup>1)</sup>、加畑 馨<sup>1,2)</sup>、遠藤知之<sup>1)</sup>、近藤 健<sup>1)</sup>、橋野 聡<sup>4)</sup>、豊嶋崇徳<sup>1)</sup>

- 1) 北海道大学大学院医学研究科血液内科
- 2) 北海道大学病院検査・輸血部
- 3) 北海道大学病院臨床研究開発センター
- 4) 北海道大学保健センター
- 5) エイズ予防財団

028-131 当院の性交渉感染による HIV 感染者における非エイズ期末治療期の CD4 陽性リンパ球数減少速度の歴史的推移

菊地 正、福田直到、宮崎菜穂子、佐藤秀憲、大亀路生、安達英輔、古賀道子、鯉淵智彦

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

028-132 HIV 感染患者における好中球 CD64 表面抗原量の検討

加勢田富士子<sup>1,2)</sup>、村田昌之<sup>1)</sup>、浦 和也<sup>1,2)</sup>、志水元洋<sup>1)</sup>、豊田一弘<sup>1)</sup>、小川栄一<sup>1)</sup>、古庄憲浩<sup>1)</sup>、林 純<sup>3)</sup>

- 1) 九州大学病院総合診療科
- 2) 九州大学大学院感染制御医学分野
- 3) 原土井病院九州総合診療センター

028-133 HIV 感染者における血清クレアチンキナーゼ上昇の検討

福田直到、安達英輔、城戸康年、菊地 正、古賀道子、鯉淵智彦

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

■日時：11月30日(月) 16:40~17:20

■会場：第5会場(東京ドームホテル B1F シンシアサウス)

029 臨床：その他 2

座長 伊藤俊広

(仙台医療センター感染症内科)

西島 健

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

029-134 HIV 感染患者におけるクリオグロブリン血症~EBV 再活性化との関連~

山本政弘<sup>1)</sup>、南 留美<sup>1)</sup>、高濱宗一郎<sup>1)</sup>、郭 悠<sup>1)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、犬丸真司<sup>2)</sup>、山地由恵<sup>2)</sup>

- 1) 九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
- 2) 九州医療センター看護部

029-135 65 歳以上で診断された HIV 感染者に関する検討

佐々木秀悟<sup>1,2)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>1,3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床微生物科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

# (一般演題) 口演

## 029-136 滋賀県中核拠点病院 HIV チーム—実績と課題の報告—

美濃亜朱<sup>1)</sup>、井手径子<sup>1)</sup>、小池ゆかり<sup>1)</sup>、  
原田利恵<sup>1)</sup>、朝香彩葉<sup>1)</sup>、澤村由莉<sup>1)</sup>、  
椛島 雪<sup>1)</sup>、中村和希<sup>1)</sup>、佐藤根美愛<sup>1)</sup>、  
美濃正臣<sup>1)</sup>、木藤克之<sup>2)</sup>、小泉祐介<sup>2,4)</sup>、  
南口仁志<sup>2)</sup>、新居加菜<sup>3)</sup>

- 1) 滋賀医科大学医学部付属病院看護部
- 2) 滋賀医科大学血液内科
- 3) 滋賀医科大学医学部付属病院医療サービス課
- 4) 愛知医科大学感染症科

## 029-137 当センターにおける新規 HIV 感染例の診断契機の検討

西島 健、高野 操、小山美紀、  
阿部直美、木下真里、鈴木ひとみ、  
杉野祐子、大金美和、池田和子、  
上村 悠、柴田 怜、柳川泰昭、  
小林泰一郎、水島大輔、青木孝弘、  
木内 英、塚田訓久、照屋勝治、  
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

## 030-140 HIV-1 p2 peptide は電子伝達系複合体 IV に対してポジティブ・アロステリック・モジュレーターとして機能する

岸本直樹<sup>1)</sup>、竹元雄輝<sup>2)</sup>、小川実菜子<sup>2)</sup>、  
角真太郎<sup>2)</sup>、鈴 伸也<sup>3)</sup>、高宗暢暁<sup>4)</sup>、  
庄司省三<sup>1)</sup>、三隅将吾<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部環境分子保健学
- 2) 熊本大学大学院薬学教育部環境分子保健学
- 3) 熊本大学エイズ学研究センター・国際先端医学研究拠点施設
- 4) 熊本大学イノベーション推進機構

## 030-141 HIV-1 Gag p1 ペプチドのウイルス生活環における機能的解析

櫻木小百合、武田英里、塩田達雄、  
櫻木淳一

大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

## 030-142 HIV env V3 領域周辺の deep sequencing による quasispecies 解析

林田庸総、土屋亮人、瀧永博之、  
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：12月1日(火) 8:40~9:30

■会場：第1会場(東京ドームホテル  
B1F 天空ノース)

### 030 基礎：複製

座長 武内寛明

(東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野)

蝦名博貴

(京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域)

■日時：12月1日(火) 9:30~10:20

■会場：第1会場(東京ドームホテル  
B1F 天空ノース)

### 031 基礎：宿主因子

座長 中山英美

(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

白川康太郎

(京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科)

## 030-138 HIV-1 インテグラーゼの変異が及ぼす酵素活性以外への影響と機序の解析

高畑辰郎<sup>1)</sup>、徳永研三<sup>2)</sup>、長谷川温彦<sup>1)</sup>、  
神奈木真理<sup>1)</sup>、増田貴夫<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学免疫治療学分野
- 2) 国立感染症研究所感染病理部

## 030-139 HIV-1 脱殻過程のカプシドタンパク質 Thr<sup>216</sup> リン酸化依存的制御機構

曾根将平<sup>1)</sup>、堂地起生<sup>1)</sup>、高宗暢暁<sup>2)</sup>、  
岸本直樹<sup>3)</sup>、三隅将吾<sup>3)</sup>

- 1) 熊本大学大学院薬学教育部環境分子保健学
- 2) 熊本大学イノベーション推進機構
- 3) 熊本大学大学院生命科学研究部環境分子保健学

## 031-143 HIV-1 産生に寄与する新規宿主細胞因子 SPSB3 の解析

鈴木尚人<sup>1)</sup>、佐久間龍太<sup>1,2)</sup>、齊戸秀樹<sup>1)</sup>、  
芳田 剛<sup>1)</sup>、武内寛明<sup>1)</sup>、山岡昇司<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野
- 2) ヤンセンファーマ株式会社

## 031-144 リン酸化酵素 MELK による HIV-1 感染後期過程制御機構の解析

武内寛明、山岡昇司

東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野

031-145 HIV-1 の指向性変化に対する APOBEC 3G の影響

松村次郎、大脇敦子、新谷英滋、高橋秀実

日本医科大学微生物学・免疫学

031-146 細胞内抑制因子 Fv1 存在下における、レトロウイルスゲノムの細胞内局在の解析

大倉定之<sup>1)</sup>、Stoye Jonathan<sup>2)</sup>、高橋秀実<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学微生物学免疫学教室

2) Division of Virology, MRC National Institute for Medical Research

031-147 HIV-1 プロテアーゼによる自然免疫回避機構の解析

工藤あゆみ<sup>1)</sup>、松永智子<sup>1)</sup>、澤崎達也<sup>2)</sup>、梁 明秀<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学医学部微生物学

2) 愛媛大学プロテオサイエンスセンター

032-149 HIV 感染症患者に合併した眼梅毒 20 症例の検討

坪井基行<sup>1)</sup>、八代成子<sup>2)</sup>、西島 健<sup>1)</sup>、柴田 怜<sup>1)</sup>、小林鉄郎<sup>1)</sup>、的野多加志<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、柳川泰昭<sup>1)</sup>、小林泰一郎<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、本田元人<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

2) 国立国際医療研究センター病院眼科

032-150 眼症状を契機に眼梅毒と HIV 感染の合併が判明した 3 例

福島一彰<sup>1)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、佐々木秀悟<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、川口龍史<sup>3)</sup>、味澤 篤<sup>1,4)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科

3) がん・感染症センター都立駒込病院眼科

4) 東京都保健医療公社豊島病院

■日時：12月1日(火) 10:20~11:20

■会場：第1会場(東京ドームホテル B1F 天空ノース)

## 032 臨床：STI・STD

座長 田邊嘉也

(新潟大学医歯学総合病院感染管理部)

青木孝弘

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

032-151 HIV 感染症合併虫垂炎におけるアメーバ性虫垂炎の特徴

小林泰一郎、渡辺恒二、上村 悠、柴田 怜、柳川泰昭、水島大輔、西島 健、木内 英、青木孝弘、本田元人、照屋勝治、瀧永博之、塚田訓久、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

032-152 赤痢アメーバ症の臨床分離株樹立プロジェクト

柳川泰昭<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、永田尚義<sup>2)</sup>、坪井基行<sup>1)</sup>、柴田 怜<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、小林鉄郎<sup>1,5)</sup>、的野多加志<sup>1)</sup>、小林泰一郎<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、西島 健<sup>1,5)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、本田元人<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、野崎智義<sup>3)</sup>、小林正規<sup>4)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

2) 国立国際医療研究センター病院消化器内科

3) 国立感染症研究所寄生動物部

4) 慶應大学医学部感染症学

5) 熊本大学大学院医学教育部

032-148 HIV 感染患者での自動化法 RPR 測定による梅毒治療効果判定の有効性

的野多加志、西島 健、坪井基行、上村 悠、柴田 怜、小林鉄郎、柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、青木孝弘、木内 英、本田元人、照屋勝治、瀧永博之、塚田訓久、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

032-153 HIV 感染者に合併した急性淋菌性前立腺炎の一例

田形愛美<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、  
佐々木秀悟<sup>2)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、  
菅沼明彦<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>1,3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科  
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科  
3) 東京都保健医療公社豊島病院

■日時：12月1日(火) 11:20~12:00

■会場：第1会場(東京ドームホテル  
B1F 天空ノース)

**033 臨床：薬剤耐性**

座長 上田敦久

(横浜市立大学大学院医学研究科病態免疫制御内科学)

照屋勝治

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

033-154 本邦の新規 HIV/AIDS 診断症例における  
薬剤耐性 HIV の動向

岡崎玲子<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>、  
渡邊 大<sup>3)</sup>、長島真美<sup>4)</sup>、貞升健志<sup>4)</sup>、  
近藤真規子<sup>5)</sup>、南 留美<sup>6)</sup>、吉田 繁<sup>7)</sup>、  
小島洋子<sup>8)</sup>、森 治代<sup>8)</sup>、内田和江<sup>9)</sup>、  
椎野禎一郎<sup>10)</sup>、加藤真吾<sup>11)</sup>、豊嶋崇徳<sup>7)</sup>、  
伊藤俊広<sup>12)</sup>、猪狩英俊<sup>13)</sup>、上田敦久<sup>14)</sup>、  
石ヶ坪良明<sup>14)</sup>、古賀一郎<sup>15)</sup>、太田康男<sup>15)</sup>、  
山元泰之<sup>16)</sup>、福武勝幸<sup>16)</sup>、古賀道子<sup>17)</sup>、  
西澤雅子<sup>10)</sup>、林田庸総<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、  
松田昌和<sup>1)</sup>、服部純子<sup>1)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、  
保坂真澄<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、中谷安宏<sup>18)</sup>、  
田邊嘉也<sup>19)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>、藤井輝久<sup>20)</sup>、  
高田 昇<sup>21)</sup>、高田清式<sup>22)</sup>、山本政弘<sup>6)</sup>、  
松下修三<sup>23)</sup>、藤田次郎<sup>24)</sup>、健山正男<sup>24)</sup>、  
杉浦 互<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1)</sup>、吉村和久<sup>10)</sup>

- 1) 名古屋医療センター  
2) 国立国際医療研究センター  
3) 大阪医療センター  
4) 東京都健康安全研究センター  
5) 神奈川県衛生研究所  
6) 九州医療センター  
7) 北海道大学  
8) 大阪府立公衆衛生研究所  
9) 埼玉県衛生研究所  
10) 国立感染症研究所  
11) 慶應義塾大学  
12) 仙台医療センター  
13) 千葉大学  
14) 横浜市立大学  
15) 帝京大学  
16) 東京医科大学  
17) 東京大学医科学研究所  
18) 石川県立中央病院  
19) 新潟大学  
20) 広島大学  
21) おだ内科クリニック  
22) 愛媛大学  
23) 熊本大学  
24) 琉球大学

## 033-155 2015年度 HIV 薬剤耐性検査外部精度評価の報告

吉田 繁<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>2)</sup>、松田昌和<sup>2)</sup>、橋本 修<sup>3)</sup>、齊藤浩一<sup>3)</sup>、岡田清美<sup>4)</sup>、伊部史朗<sup>4)</sup>、和山行正<sup>4)</sup>、椎野禎一郎<sup>5)</sup>、加藤真吾<sup>6)</sup>、佐藤かおり<sup>7)</sup>、豊嶋崇徳<sup>8)</sup>、杉浦 互<sup>2,9)</sup>、吉村和久<sup>5)</sup>

- 1) 北海道大学大学院保健科学研究院
- 2) 名古屋医療センター
- 3) LSIメディエンス
- 4) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 5) 国立感染症研究所
- 6) 慶應義塾大学医学部微生物学
- 7) 北海道大学病院検査・輸血部
- 8) 北海道大学病院血液内科
- 9) グラクソ・スミスクライン株式会社

## 033-156 M184V/Iを含む薬剤耐性 HIV-1 感染症に対する抗レトロウイルス薬の検証

谷口俊文、櫻井隆之、漆原崇司、猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部

## 033-157 当センターにおける Stribld 耐性症例の検討

青木孝弘、坪井基行、小林鉄郎、的野多加志、上村 悠、柴田 怜、柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、西島 健、木内 英、本田元人、塚田訓久、照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：12月1日(火) 14:40~15:40

■会場：第1会場(東京ドームホテル B1F 天空ノース)

## 034 臨床：肝炎合併

座長 四柳 宏

(東京大学医学部感染症内科)

萩原 剛

(東京医科大学臨床検査医学科)

## 034-158 当院における HIV 感染症患者における B 型肝炎ウイルス感染の状況

松本剛史<sup>1,2)</sup>、伊野和子<sup>2)</sup>、中森良樹<sup>2)</sup>、宮崎香奈<sup>2)</sup>、門間文彦<sup>2)</sup>、藤枝敦史<sup>2)</sup>、杉本由香<sup>2)</sup>、俵 功<sup>2)</sup>、山口素子<sup>2)</sup>、大石晃嗣<sup>1,2)</sup>、榎屋正浩<sup>2)</sup>、和田英夫<sup>2,3)</sup>、西川政勝<sup>2,4)</sup>、片山直之<sup>2)</sup>

- 1) 三重大学医学部附属病院輸血部
- 2) 三重大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学
- 3) 三重大学大学院医学系研究科検査医学
- 4) 三重大学医学部附属病院臨床研究開発センター

## 034-159 透析導入中に B 型肝炎硬変を併発した HIV 感染者にツルバダ配合錠の投与をテノビル血中濃度に基づいて検討した症例

築地茉莉子<sup>1)</sup>、山崎伸吾<sup>1)</sup>、中村貴子<sup>1)</sup>、鈴木貴明<sup>1)</sup>、有吉範高<sup>1)</sup>、猪狩英俊<sup>2)</sup>、石井伊都子<sup>1)</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部

## 034-160 当院における HIV・HCV 重複感染者の肝炎の現況

上村 悠<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>1)</sup>、坪井基行<sup>1)</sup>、小林鉄郎<sup>1)</sup>、的野多加志<sup>1)</sup>、柴田 怜<sup>1)</sup>、柳川泰昭<sup>1,2)</sup>、小林泰一郎<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1,2)</sup>、西島 健<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、本田元人<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター

## 034-161 HIV 感染者に発症した急性 C 型肝炎の 1 例

西川晃司<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、佐々木秀悟<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) 都立駒込病院感染症科
- 2) 都立駒込病院臨床検査科



034-162 IFN 治療不応の HIV 合併 C 型肝炎に対して Asunaprevir+Daclastavir で治療した 1 例

西村 翔、大路 剛、岩田健太郎

神戸大学医学部付属病院感染症内科

034-163 HIV 感染患者に施行した摘脾の影響に関する検討

笠井大介<sup>1)</sup>、山本雄大<sup>1)</sup>、湯川理己<sup>1)</sup>、  
廣田和之<sup>1)</sup>、上地隆史<sup>1)</sup>、伊熊素子<sup>1)</sup>、  
矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、渡邊 大<sup>1)</sup>、西田恭治<sup>1)</sup>、  
上平朝子<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>、池田正孝<sup>2)</sup>、  
石田 永<sup>3)</sup>、三田英治<sup>3)</sup>

1) 大阪医療センター感染症内科

2) 大阪医療センター外科

3) 大阪医療センター消化器内科

■日時：12月1日(火) 8:40~9:40

■会場：第2会場(東京ドームホテル  
B1F 天空センター)

## 035 臨床：抗 HIV 療法 3

座長 鯉淵智彦

(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

長谷川直樹

(慶應義塾大学医学部感染制御センター)

035-164 当院における Dolutegravir の使用状況

青井博志<sup>1)</sup>、治田匡平<sup>1)</sup>、赤澤紫乃<sup>1)</sup>、  
古西 満<sup>2)</sup>、宇野健司<sup>3)</sup>、小川吉彦<sup>3)</sup>、  
小川 拓<sup>3)</sup>、笠原 敬<sup>3)</sup>、三笠桂一<sup>3)</sup>、  
谷口美苗<sup>4)</sup>、梶井節子<sup>4)</sup>

1) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部

2) 奈良県立医科大学健康管理センター

3) 奈良県立医科大学感染症センター

4) 奈良県立医科大学附属病院看護部

035-165 当院におけるドルテグラビルの使用経験  
坂部茂俊、豊嶋弘一、辻 幸太

伊勢赤十字病院感染症内科

035-166 当院におけるドルテグラビル中止例に関する検討

矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>2)</sup>、山本雄大<sup>1)</sup>、  
湯川理己<sup>1)</sup>、廣田和之<sup>1)</sup>、伊熊素子<sup>1)</sup>、  
笠井大介<sup>1)</sup>、渡邊 大<sup>1)</sup>、西田恭治<sup>1)</sup>、  
上平朝子<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

1) 大阪医療センター感染症内科

2) 大阪医療センター薬剤部

035-167 駒込病院におけるドルテグラビルの使用状況～投与中止例から考える忍容性について～

朽木絵美<sup>1)</sup>、佐野俊彦<sup>1)</sup>、佐々木秀悟<sup>2)</sup>、  
関谷綾子<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>2)</sup>、菅沼明彦<sup>2)</sup>、  
今村顕史<sup>2)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院薬剤科

2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

035-168 ドルテグラビル(DTG)登場前後での初回 Anti-Retroviral Therapy (ART) 導入患者のバックボーンの使用調査

小林洋平<sup>1)</sup>、原田幸子<sup>1)</sup>、遠藤知之<sup>2)</sup>、  
笠師久美子<sup>1)</sup>、深井敏隆<sup>1)</sup>、山田武宏<sup>1)</sup>、  
井関 健<sup>1,3)</sup>

1) 北海道大学病院

2) 北海道大学病院血液内科

3) 北海道大学院薬学研究院

035-169 DTG+RPV は NRTI-sparing として使用することのできるレジメンの 1 つである

鈴木剛史<sup>1)</sup>、原 伸子<sup>1)</sup>、前田卓哉<sup>2)</sup>、  
藤倉雄二<sup>2)</sup>、川名明彦<sup>2)</sup>、曾根原巨<sup>1)</sup>

1) 防衛医科大学校病院薬剤部

2) 防衛医科大学校内科学(感染症・呼吸器)

■日時：12月1日(火) 9:40~10:40

■会場：第2会場(東京ドームホテル  
B1F 天空センター)

## 036 臨床：抗 HIV 療法 4

座長 藤井 毅

(東京医科大学八王子医療センター感染症科)

猪狩英俊

(千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部)

036-170 Dolutegravir と Rilpivirine の併用療法の臨床成績

塚田訓久、柳川泰昭、小林泰一郎、  
水島大輔、西島 健、青木孝弘、  
木内 英、渡辺恒二、源河いくみ、  
本田元人、矢崎博久、照屋勝治、  
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

036-171 Sustained Viral Remission (SVR) 後における CD4 数増加に關与する因子の検討

藤井輝久<sup>1)</sup>、山崎尚也<sup>1)</sup>、齊藤誠司<sup>1)</sup>、  
小川良子<sup>2)</sup>、池田有里<sup>2)</sup>、木下一枝<sup>2)</sup>、  
城下由衣<sup>3)</sup>、藤井健司<sup>4)</sup>、藤田啓子<sup>4)</sup>、  
畷井浩子<sup>4)</sup>、高田 昇<sup>5)</sup>

- 1) 広島大学病院輸血部
- 2) 広島大学病院看護部
- 3) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 4) 広島大学病院薬剤部
- 5) 広島文化学園大学看護学部

036-172 viral RNA および proviral DNA の両者において CCR5 指向性を確認した HIV-1 感染患者に対する Maraviroc+Tenofovir/Emtricitabine による導入療法

小谷 宙<sup>1,2)</sup>、須藤弘二<sup>3)</sup>、藤原 宏<sup>2)</sup>、  
西松直美<sup>1)</sup>、山口雅也<sup>1)</sup>、長谷川直樹<sup>2)</sup>、  
岩田 敏<sup>2)</sup>、加藤真吾<sup>3)</sup>、根岸昌功<sup>4)</sup>、  
岡本真一郎<sup>1,5)</sup>

- 1) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 3) 慶應義塾大学病院医学部微生物・免疫学教室
- 4) ねぎし内科クリニック
- 5) 慶應義塾大学医学部血液内科

036-173 当院の HIV 感染者における長期合併症の有無と抗 HIV 薬の選択の関連性の検討

渡邊 大<sup>1,2)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、山本雄大<sup>2)</sup>、  
湯川理己<sup>2)</sup>、上地隆史<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、  
伊熊素子<sup>2)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>2)</sup>、笠井大介<sup>2)</sup>、  
西田恭治<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>1,2)</sup>

- 1) 大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
- 2) 大阪医療センター感染症内科

036-174 当科で抗 HIV 療法 (ART) を開始し継続中の症例における CD4 陽性細胞数と HIV-1 RNA 量の経過

村松 崇、山元泰之、石尾瑛子、  
上久保淑子、大谷眞智子、近澤悠志、  
備後眞登、横田和久、清田育男、  
四本美保子、大瀧 学、尾形亨一、  
萩原 剛、鈴木隆史、天野景裕、福武勝幸

東京医科大学病院臨床検査医学科

036-175 AIDS 合併二次性骨髄異形成症候群に対し、CCR5 阻害剤を併用して造血幹細胞移植を行った 1 例

小谷岳春<sup>1)</sup>、杉盛千春<sup>1)</sup>、中谷安宏<sup>2)</sup>

- 1) 石川県立中央病院血液内科
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

■日時：12月1日(火) 10:40~11:30

■会場：第2会場(東京ドームホテル B1F 天空センター)

## 037 臨床：生活習慣 2

座長 上平朝子

(大阪医療センター感染症内科)

天野景裕

(東京医科大学医学部医学科臨床検査医学分野)

037-176 HIV 感染者の動脈硬化に影響を与える因子の検討

南 留美、高濱宗一郎、郭 悠、  
小松真梨子、山地由恵、犬丸真司、  
長與由紀子、城崎真弓、山本政弘

九州医療センター免疫感染症科

037-177 2 型糖尿病男性患者における HIV と骨代謝異常の検討

関谷綾子<sup>1)</sup>、片柳直子<sup>2)</sup>、佐々木秀悟<sup>1)</sup>、  
柳澤如樹<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>1)</sup>、久保田憲<sup>3)</sup>、  
今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) 都立駒込病院感染症科
- 2) 都立駒込病院糖尿病内分泌内科
- 3) 都立荏原病院内科

037-178 日本人 HIV 感染症患者における cART 導入後の経過期間ごとの骨密度減少の推移

古賀一郎、妹尾和憲、北沢貴利、太田康男

帝京大学医学部内科学講座

037-179 HIV 感染者における尿中 L-FABP 測定について

宇野健司<sup>1)</sup>、古西 満<sup>2)</sup>、笠原 敬<sup>1)</sup>、  
米川真輔<sup>1)</sup>、小川 拓<sup>1)</sup>、中村ふくみ<sup>1)</sup>、  
今井雄一郎<sup>1)</sup>、小川吉彦<sup>1)</sup>、平田一記<sup>1)</sup>、  
平位暢康<sup>1)</sup>、治田匡平<sup>3)</sup>、青井博志<sup>3)</sup>、  
谷口美苗<sup>4)</sup>、三笠桂一<sup>1)</sup>

- 1) 奈良県立医科大学感染症センター
- 2) 奈良県立医科大学附属病院健康管理センター
- 3) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 4) 奈良県立医科大学附属病院看護部

## 037-180 HIV 感染者における *Helicobacter pylori* 感染と慢性胃炎

安達英輔<sup>1)</sup>、大田泰徳<sup>2)</sup>、佐藤秀憲<sup>1,3)</sup>、  
福田直到<sup>1)</sup>、大亀路生<sup>1)</sup>、菊地 正<sup>1)</sup>、  
古賀道子<sup>1)</sup>、松原康朗<sup>4)</sup>、立川 愛<sup>3)</sup>、  
鯉淵智彦<sup>1)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) 東京大学医科学研究所附属病院病理部
- 3) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 4) 東京大学医科学研究所附属病院先端診療部

■日時：12月1日(火) 11:30~12:00

■会場：第2会場(東京ドームホテル  
B1F 天空センター)

### 038 臨床：歯科

座長 宇佐美雄司

(名古屋医療センター歯科口腔外科)

大多和由美

(東京歯科大学口腔健康科学講座)

## 038-181 北海道 HIV/AIDS 歯科医療ネットワーク 構築事業の概要

佐藤 淳、宮腰昌明、浅香卓哉、北川善政

北海道大学大学院歯学研究所口腔病態学講座口腔診断内  
科学教室

## 038-182 神奈川県 HIV 歯科診療ネットワーク、10 年の経緯

筑丸 寛<sup>1)</sup>、上田敦久<sup>2)</sup>、小森康雄<sup>3)</sup>、  
泉福英信<sup>4)</sup>、竹林早苗<sup>5)</sup>、松山奈央<sup>5)</sup>、  
金子明寛<sup>6)</sup>、池田正一<sup>7)</sup>、白井 輝<sup>8)</sup>、  
石ヶ坪良明<sup>9)</sup>、藤内 祝<sup>1)</sup>

- 1) 横浜市立大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能制御学
- 2) 横浜市立大学附属病院リウマチ血液感染症内科
- 3) 東京医科大学医学部口腔外科学講座
- 4) 国立感染症研究所細菌第一部
- 5) 横浜市立大学附属病院看護部
- 6) 東海大学医学部外科学系口腔外科
- 7) 神奈川県立歯科大学附属横浜研修センター総合歯科学講座
- 8) 聖ヨゼフ病院
- 9) 横須賀市立市民病院

## 038-183 奈良県における HIV 感染者の歯科診療の 現状

福辻 智<sup>1,2)</sup>、今井裕一郎<sup>2)</sup>、柳生貴裕<sup>2)</sup>、  
伊地知由賀<sup>3)</sup>、杉山友一<sup>4)</sup>、渡邊裕子<sup>2,6)</sup>、  
古西 満<sup>5)</sup>、宇野健司<sup>6)</sup>、三笠桂一<sup>6)</sup>、  
桐田忠昭<sup>2)</sup>

- 1) 田北会田北病院歯科口腔外科
- 2) 奈良県立医科大学口腔外科学講座
- 3) 奈良県立医科大学附属病院医療技術センター
- 4) 奈良県歯科医師会
- 5) 奈良県立医科大学附属病院健康管理センター
- 6) 奈良県立医科大学感染症センター

■日時：12月1日(火) 14:40~15:10

■会場：第2会場(東京ドームホテル  
B1F 天空センター)

### 039 臨床：悪性腫瘍 1

座長 加藤哲朗

(東京慈恵会医科大学感染制御部)

今村淳治

(名古屋医療センターエイズ治療開発センター)

## 039-184 拡大肛門鏡を用いた HIV 陽性者の肛門管 上皮内病変の診断と治療

北村 浩<sup>1,2)</sup>、井戸田一朗<sup>2)</sup>、岡山香里<sup>3)</sup>、  
大河戸光章<sup>3)</sup>、佐野彰彦<sup>4)</sup>、佐野麻里子<sup>5)</sup>、  
小林 治<sup>6)</sup>

- 1) 杏林大学医学部腫瘍内科
- 2) しらかば診療所
- 3) 杏林大学保健学部病理学教室
- 4) 杏林大学医学部総合医療学教室感染症科
- 5) 杏林大学医学部附属病院看護部
- 6) 杏林大学保健学部看護学科

## 039-185 日本人 MSM における肛門・尿路 HPV genotype prevalence および HPV 感 染の risk factor に関する検討

八重樫洋<sup>1)</sup>、重原一慶<sup>1,2)</sup>、中嶋一史<sup>1)</sup>、  
川口昌平<sup>1,3)</sup>、井戸田一朗<sup>4)</sup>、笹川寿之<sup>5)</sup>、  
並木幹夫<sup>1)</sup>

- 1) 金沢大学医薬保健研究域泌尿器科
- 2) 石川県立中央病院泌尿器科
- 3) 富山県立中央病院泌尿器科
- 4) しらかば診療所
- 5) 金沢医科大学周産期医学

## 039-186 HIV 陽性 MSM における肛門擦過細胞診 と Human papillomavirus 検査

大河戸光章<sup>1)</sup>、岡山香里<sup>1)</sup>、北村 浩<sup>2,3)</sup>、  
井戸田一朗<sup>3)</sup>

- 1) 杏林大学保健学部病理学研究室
- 2) 杏林大学医学部腫瘍内科
- 3) しらかば診療所

039-187 演題取り下げ

■日時：12月1日(火) 15:20~16:10

■会場：第2会場(東京ドームホテル  
B1F 天空センター)

## 040 臨床：悪性腫瘍2

座長 井戸田一朗

(しらかば診療所)

四本美保子

(東京医科大学病院臨床検査医学科)

040-188 HIV/HHV8 関連キャッスルマン病を発症した2例の長期経過一覽解例と混合式AIHAを伴った再発例

長尾 梓<sup>1)</sup>、備後真登<sup>3)</sup>、滝本貴美<sup>2)</sup>、  
藤枝由香梨<sup>2)</sup>、坂本則夫<sup>2)</sup>、大谷眞智子<sup>3)</sup>、  
横田和久<sup>3)</sup>、清田育男<sup>3)</sup>、四本美保子<sup>3)</sup>、  
福武勝幸<sup>3)</sup>、花房秀次<sup>1)</sup>

1) 荻窪病院血液科  
2) 荻窪病院検査科  
3) 東京医科大学病院臨床検査医学科

040-189 ドキソルピシン塩酸塩リポソーム注射剤(ドキシル<sup>®</sup>)を47回行った難治性のカポジ肉腫症例

横田和久<sup>1)</sup>、大谷眞智子<sup>1)</sup>、上久保淑子<sup>1)</sup>、  
一木昭人<sup>1)</sup>、近澤悠志<sup>1)</sup>、備後真登<sup>1)</sup>、  
村松 崇<sup>1)</sup>、清田育男<sup>2)</sup>、四本美保子<sup>1)</sup>、  
萩原 剛<sup>1)</sup>、鈴木隆史<sup>1)</sup>、山元泰之<sup>1)</sup>、  
天野景裕<sup>1)</sup>、福武勝幸<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学病院臨床検査医学科  
2) 東京医科大学茨城医療センター内科

040-190 急激な腹水貯留で発症したHIV感染合併の原発性体腔液リンパ腫の1例

斉藤千鶴<sup>1)</sup>、小谷岳春<sup>1)</sup>、中谷安宏<sup>2)</sup>

1) 石川県立中央病院血液内科  
2) 石川県立中央病院免疫感染症科

040-191 非AIDS指標悪性腫瘍及び重複癌の後方視的研究

古賀道子<sup>1,2)</sup>、福田直到<sup>2)</sup>、大亀路生<sup>1)</sup>、  
佐藤秀憲<sup>1)</sup>、菊地 正<sup>1,2)</sup>、安達英輔<sup>2)</sup>、  
鯉淵智彦<sup>2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野  
2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

040-192 腫瘍組織から産生されるIL-6・G-CSFが制御困難な発熱・白血球増多の原因と考えられたHIV感染症合併肺扁平上皮癌の一例

南宮 湖<sup>1)</sup>、正木克宜<sup>1)</sup>、藤原 宏<sup>2)</sup>、  
小谷 宙<sup>3)</sup>、西松直美<sup>3)</sup>、戸蒔裕子<sup>4)</sup>、  
加藤真吾<sup>5)</sup>、岩田 敏<sup>6)</sup>、長谷川直樹<sup>2)</sup>

1) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科  
2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター  
3) 慶應義塾大学病院薬剤部  
4) 慶應義塾大学病院看護部  
5) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室  
6) 慶應義塾大学医学部感染症学教室

■日時：12月1日(火) 8:40~9:30

■会場：第3会場(東京ドームホテル  
B1F 天空サウス)

## 041 社会：政策2

座長 山本政弘

(九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター)

大木幸子

(杏林大学保健学部看護学科地域看護学研究室)

041-193 HIV研修参加薬剤師のグループディスカッション形式症例検討における意識変化に関する調査

阿部憲介<sup>1)</sup>、佐藤麻希<sup>2)</sup>、國本雄介<sup>3)</sup>、  
神尾咲留未<sup>1)</sup>、小山田光孝<sup>1)</sup>、塚本琢也<sup>1)</sup>、  
鈴木智子<sup>1,4)</sup>、佐々木晃子<sup>1)</sup>、伊藤ひとみ<sup>1)</sup>、  
佐藤 功<sup>1,5)</sup>、伊藤俊広<sup>1)</sup>

1) 仙台医療センター  
2) 国立国際医療研究センター病院  
3) 札幌医科大学附属病院  
4) エイズ予防財団  
5) 医徳会真壁病院

041-194 HIV/AIDS患者の医療費助成~市立函館病院からの報告~

片井麻美<sup>1)</sup>、鈴木春美<sup>2)</sup>、堤 豊<sup>1)</sup>

1) 市立函館病院  
2) (株)ニチイ学館

## 041-195 長野県中信地区における HIV 感染症診断にいたるまでの病歴の検討

牛木淳人<sup>1)</sup>、金井信一郎<sup>2)</sup>、北野喜良<sup>3)</sup>、  
小林裕子<sup>4)</sup>、小堀福子<sup>4)</sup>、小林和代<sup>5)</sup>、  
長谷川直子<sup>5)</sup>、山本理沙<sup>5)</sup>、柘植洋子<sup>6)</sup>、  
土屋広行<sup>7)</sup>、山崎明美<sup>8)</sup>、安尾将法<sup>1)</sup>、  
山本 洋<sup>1)</sup>、花岡正幸<sup>1)</sup>

- 1) 信州大学医学部内科学第一教室
- 2) 信州大学医学部附属病院感染制御室
- 3) まつもと医療センター血液内科
- 4) 信州大学医学部附属病院医療福祉支援センター
- 5) まつもと医療センター地域医療連携室
- 6) まつもと医療センター看護部
- 7) 信州大学医学部附属病院薬剤部
- 8) 信州大学医学部保健学科看護学専攻広域看護学教室

## 041-196 地域行政と連携した慢性疾患管理システムの構築に関する検討—HIV 陽性者支援における行政サービス活用の効果—

羽柴知恵子<sup>1,2)</sup>、伊藤杏奈<sup>1)</sup>、浅海里帆<sup>2)</sup>、  
蜂谷敦子<sup>3)</sup>、岩谷靖雅<sup>3)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>

- 1) 名古屋医療センター看護部
- 2) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 3) 名古屋医療センター感染・免疫研究部

## 041-197 歯科診療ネットワーク構築における曝露時予防薬準備の効果について—配布モデルによる検討—

宇佐美雄司、菱田純代、總山貴子

名古屋医療センター歯科口腔外科

## 042-199 HIV 医療における心理面接の機能—家族関係の改善により受療行動の安定を図った事例—

小松賢亮<sup>1)</sup>、加藤 温<sup>2,3)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、  
渡邊愛祈<sup>1)</sup>、仲里 愛<sup>1,4)</sup>、谷口 紅<sup>1)</sup>、  
杉野祐子<sup>1)</sup>、湯永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、  
今井公文<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究・開発センター
- 2) 国立国際医療研究センター病院総合診療科
- 3) 国立国際医療研究センター病院精神科
- 4) エイズ予防財団リサーチレジデント

## 042-200 HIV 感染者における知的機能と ASD 傾向との関連

松岡亜由子<sup>1)</sup>、石原真理<sup>1)</sup>、森 祐子<sup>1,2)</sup>、  
羽柴知恵子<sup>1,3)</sup>、蜂谷敦子<sup>4)</sup>、岩谷靖雅<sup>4)</sup>、  
横幕能行<sup>1)</sup>

- 1) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 2) エイズ予防財団
- 3) 名古屋医療センター看護部
- 4) 名古屋医療センター感染・免疫研究部

## 042-201 抑うつ傾向のある HIV 感染症患者に対する神経心理学的検査を活用した症状改善とアドヒアランス向上への支援

阪木淳子、辻麻理子、城崎真弓、  
長與由紀子、郭 悠、高濱宗一郎、  
南 留美、山本政弘

九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター

■日時：12月1日(火) 9:30~10:20

■会場：第3会場(東京ドームホテル  
B1F 天空サウス)

## 042 社会：カウンセリング 2

座長 山中京子

(大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類)

高田知恵子

(秋田大学教育文化学部)

## 042-202 HIV 陽性者における自殺に関する調査

石原真理<sup>1)</sup>、羽柴知恵子<sup>1)</sup>、松岡亜由子<sup>1)</sup>、  
森 祐子<sup>1,2)</sup>、蜂谷敦子<sup>3)</sup>、岩谷靖雅<sup>3)</sup>、  
横幕能行<sup>1)</sup>

- 1) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 2) エイズ予防財団リサーチレジデント
- 3) 名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

## 042-198 HIV 陽性者のメンタルヘルスと心理的特性の関連性に関する研究

安尾利彦<sup>1)</sup>、仲倉高広<sup>2)</sup>、下司有加<sup>3)</sup>、  
中濱智子<sup>3)</sup>、東 政美<sup>3)</sup>、鈴木成子<sup>3)</sup>、  
白阪琢磨<sup>4)</sup>

- 1) 大阪医療センター臨床心理室
- 2) 京都大学大学院教育学研究科
- 3) 大阪医療センター看護部
- 4) 大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター

■日時：12月1日(火) 10:20~11:10

■会場：第3会場(東京ドームホテル  
B1F 天空サウス)

## 043 社会：MSM2

座長 日高庸晴

(宝塚大学看護学部)

井上洋士

(放送大学)

043-203 ゲイ・バイセクシャル男性における HIV 検査受検経験及び関連する要因

細井舞子<sup>1)</sup>、安井典子<sup>1)</sup>、青木理恵<sup>1)</sup>、  
安保貴行<sup>1)</sup>、松村直樹<sup>1)</sup>、奥町彰礼<sup>1)</sup>、  
廣川秀徹<sup>1)</sup>、半羽宏之<sup>1)</sup>、松本健二<sup>1)</sup>、  
後藤大輔<sup>2)</sup>、宮田りりい<sup>2)</sup>、町登志雄<sup>3)</sup>、  
塩野徳史<sup>4)</sup>

- 1) 大阪市保健所感染症対策課
- 2) MASH大阪
- 3) エイズ予防財団
- 4) 名古屋市立大学看護学部

043-204 コミュニティセンター dista における HIV 検査の意義

後藤大輔<sup>1,2)</sup>、塩野徳史<sup>2,3)</sup>、町登志雄<sup>1,2)</sup>、  
宮田りりい<sup>1,2)</sup>、伴仲昭彦<sup>2)</sup>、鬼塚哲郎<sup>2,4)</sup>、  
安井典子<sup>5)</sup>、細井舞子<sup>5)</sup>、半羽宏之<sup>5)</sup>

- 1) エイズ予防財団
- 2) MASH大阪
- 3) 名古屋市立大学看護学部
- 4) 京都産業大学
- 5) 大阪市保健所感染症対策課

043-205 コミュニティセンター dista 来場者の特性

町登志雄<sup>1,2)</sup>、後藤大輔<sup>1,2)</sup>、宮田りりい<sup>1,2)</sup>、  
伴仲昭彦<sup>2)</sup>、鬼塚哲郎<sup>2,3)</sup>、塩野徳史<sup>2,4)</sup>、  
安井典子<sup>5)</sup>、細井舞子<sup>5)</sup>、半羽宏之<sup>5)</sup>

- 1) エイズ予防財団
- 2) MASH大阪
- 3) 京都産業大学
- 4) 名古屋市立大学
- 5) 大阪市保健所感染症対策課

043-206 コミュニティセンター dista における中高年層 MSM 来場者誘致プログラム「南界堂茶会」の効果評価

伴仲昭彦<sup>1)</sup>、鬼塚哲郎<sup>1,2)</sup>、大畑泰次郎<sup>1)</sup>、  
塩野徳史<sup>1,3)</sup>、町登志雄<sup>1,4)</sup>、後藤大輔<sup>1,4)</sup>

- 1) MASH大阪
- 2) 京都産業大学
- 3) 名古屋市立大学看護学部
- 4) エイズ予防財団

043-207 近畿地域在住の MSM (Men who have sex with men) における初性交時の予防行動に関連した要因—10 年間の変化—

塩野徳史<sup>1)</sup>、後藤大輔<sup>2,3)</sup>、町登志雄<sup>2,3)</sup>、  
宮田りりい<sup>2,3)</sup>、伴仲昭彦<sup>2)</sup>、鬼塚哲郎<sup>2,4)</sup>、  
金子典代<sup>1)</sup>、市川誠一<sup>5)</sup>

- 1) 名古屋市立大学看護学部
- 2) MASH大阪
- 3) エイズ予防財団
- 4) 京都産業大学
- 5) 人間環境大学大学院看護学研究所

■日時：12月1日(火) 11:10~12:00

■会場：第3会場(東京ドームホテル  
B1F 天空サウス)

## 044 社会：ソーシャルワーク

座長 藏田 裕

(新潟大学医歯学総合病院)

富田健一

(北海道大学病院相談室)

044-208 HIV 診療委員会におけるソーシャルワーカーの役割に関する考察

柳田月美<sup>1)</sup>、豊田恵太<sup>1)</sup>、趙 理明<sup>1)</sup>、  
松永伸一<sup>1)</sup>、土谷良樹<sup>1)</sup>、井川千恵子<sup>2)</sup>、  
紅田慶子<sup>2)</sup>、角南直美<sup>3)</sup>

- 1) 東葛病院
- 2) 東葛病院付属診療所
- 3) わかば薬局

044-209 精神科入院を有する HIV 陽性患者の受療支援を通じた考察と今後の展望

木村絵梨奈<sup>1)</sup>、佐俣智子<sup>1)</sup>、山田拓哉<sup>1)</sup>、  
影山美紗子<sup>1)</sup>、西川明里<sup>1)</sup>、高橋紀貴<sup>1)</sup>、  
小林里沙<sup>1)</sup>、掛川瑤子<sup>1)</sup>、佐藤拓海<sup>1)</sup>、  
飯塚真由美<sup>1)</sup>、篠原純史<sup>1)</sup>、合田 史<sup>2)</sup>、  
佐藤正通<sup>1,2)</sup>

- 1) 高崎総合医療センター地域医療支援・連携センター部
- 2) 高崎総合医療センター総合診療科

# (一般演題) 口演

044-210 介護を要する HIV 陽性者の施設入所困難事例に学ぶ～ソーシャルワーカーの視点から～

石郷岡美穂<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>2)</sup>、前田サオリ<sup>2)</sup>、仲村秀太<sup>3)</sup>、上 薫<sup>3)</sup>、諸見牧子<sup>4)</sup>、辺土名優美子<sup>5)</sup>、大城市子<sup>5)</sup>、健山正男<sup>3)</sup>、藤田次郎<sup>1,3)</sup>

- 1) 琉球大学医学部附属病院医療福祉支援センター
- 2) 同大学医学部附属病院看護部
- 3) 同大学医学部研究科感染症・呼吸器・内科学講座
- 4) 同大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 沖縄県HIV派遣カウンセラー

044-211 HIV 多職種カンファレンスの取り組み  
佐藤かおり、高木雅敏、塘田貴代美、井原国代

熊本大学医学部附属病院

044-212 北海道における HIV 陽性者への福祉サービスネットワーク構築

富田健一<sup>1)</sup>、白坂るみ<sup>2)</sup>、遠藤知之<sup>3)</sup>、渡部恵子<sup>1,4)</sup>、武内阿味<sup>1,5)</sup>、坂本玲子<sup>1,2)</sup>、センチノ田村恵子<sup>1,5)</sup>、石田陽子<sup>1)</sup>、豊嶋崇徳<sup>3)</sup>

- 1) 北海道大学病院相談室
- 2) はばたき福祉事業団
- 3) 北海道大学病院血液内科
- 4) 北海道大学病院看護部
- 5) エイズ予防財団

■日時：12月1日(火) 14:40~15:20  
■会場：第3会場(東京ドームホテル B1F 天空サウス)

## 045 社会：滞在外国人

座長 仲尾唯治

(山梨学院大学経営情報学部)

青木理恵子

(CHARM)

045-213 新エイズ予防指針に基づく全国自治体の在日外国人対応に関する認識と現状(第2報)

仲尾唯治<sup>1)</sup>、沢田貴志<sup>2)</sup>、山本裕子<sup>3)</sup>

- 1) 山梨学院大学経営情報学部
- 2) 港町診療所
- 3) シェア=国際保健協力市民の会

045-214 当院における過去15年間のHIV陽性外国人の動向と支援の検討

関矢早苗<sup>1)</sup>、小嶋道子<sup>2)</sup>、今村遼子<sup>2)</sup>、竹田真澄<sup>2)</sup>、菊池由生子<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>3)</sup>、菅沼明彦<sup>3)</sup>、味澤 篤<sup>4)</sup>、今村顕史<sup>3)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院看護部
- 2) 同医療相談係
- 3) 同感染症科
- 4) 東京都保健医療公社豊島病院

045-215 当院における外国籍 HIV 陽性者についての検討～22年間の変遷～

白野倫徳<sup>1)</sup>、笠松 悠<sup>1)</sup>、森村 歩<sup>1)</sup>、飯田 康<sup>1)</sup>、来住知美<sup>1)</sup>、豊島裕子<sup>2)</sup>、市田裕之<sup>3)</sup>、瀧浦その子<sup>4)</sup>、大石真綾<sup>4)</sup>、後藤哲志<sup>1)</sup>

- 1) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 2) 大阪市立総合医療センター看護部
- 3) 大阪市立総合医療センター薬剤部
- 4) 大阪市立総合医療センター患者支援センター

045-216 HIV 陽性の滞日難民認定申請者へのソーシャルワーク

古藤吾郎<sup>1)</sup>、櫻井美香<sup>1)</sup>、田多 晋<sup>1)</sup>、土岐茂里<sup>1)</sup>、松岡佳奈子<sup>2)</sup>

- 1) 認定NPO法人難民支援協会
- 2) 難民研究フォーラム

■日時：12月1日(火) 15:20~16:10

■会場：第3会場(東京ドームホテル B1F 天空サウス)

## 046 社会：感染予防

座長 塩野徳史

(名古屋市立大学看護学部)

中西好子

(葛飾区健康部長(保健所長兼務))

046-217 青少年向けエイズ啓発冊子「エイズのはなし」の評価

細井舞子、安井典子、青木理恵、安保貴行、松村直樹、奥町彰礼、廣川秀徹、半羽宏之、松本健二

大阪市保健所感染症対策課

046-218 HIV 陽性者に対する態度構造について—感染経路に着目して—

飯田昌子

鹿児島大学法文学部

046-219 10代20代対象の心に響く性教育講演活動

星野貴泰

高崎総合医療センター

046-220 エイズの啓発活動 ATACinNARA の15年目の啓発活動

畠山雅行<sup>1,2,3)</sup>

1) 東京都結核予防会

2) 奈良産業保健総合支援センター

3) 労働衛生コンサルタントオフィス畠山

046-221 金銭的・物的インセンティブに頼らないモビライザーの育成—ケニア国ウゲニャ県におけるPMTCT啓発事業(JICA草の根技術協力事業)の事例から—

巢内秀太郎、門田瑠衣子

エイズ孤児支援NGO・PLAS

■日時：12月1日(火) 8:40~9:30

■会場：第4会場(東京ドームホテル B1F シンシアノース)

## 047 要望演題：薬害・血友病

座長 若林チヒロ

(埼玉県立大学健康開発学科)

藤原良次

(りょうちゃんず)

047-222 全国のHIV感染血友病等患者の健康実態・日常生活の実態調査と支援に関する研究(第一報)~支援の概要と課題

柿沼章子、岩野友里、久地井寿哉、大平勝美

はばたき福祉事業団

047-223 全国のHIV感染血友病等患者の健康実態・日常生活の実態調査と支援に関する研究(第二報)~日常生活困難事例の分析

岩野友里、柿沼章子、久地井寿哉、大平勝美

はばたき福祉事業団

047-224 HIV感染血友病患者の長期療養に向けた支援~情報収集と療養支援アセスメントシートの検討から~

鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、小山美紀<sup>1)</sup>、阿部直美<sup>1)</sup>、谷口 紅<sup>1)</sup>、木下真里<sup>1)</sup>、杉野祐子<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、久地井寿哉<sup>2)</sup>、岩野友里<sup>2)</sup>、柿沼章子<sup>2)</sup>、大平勝美<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

2) はばたき福祉事業団

047-225 HIV感染血友病患者の療養先検討に向けた支援プロトコルの作成

大金美和<sup>1)</sup>、小山美紀<sup>1)</sup>、鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、阿部直美<sup>1)</sup>、木下真里<sup>1)</sup>、谷口 紅<sup>1)</sup>、杉野祐子<sup>1)</sup>、岩野友里<sup>2)</sup>、久地井寿哉<sup>2)</sup>、柿沼章子<sup>2)</sup>、大平勝美<sup>2)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

2) はばたき福祉事業団

047-226 薬害HIV遺族相談事業「日々についてのおたずね」の活動報告—その1 活動経緯と実施状況—

西川歩美<sup>1,2,3)</sup>、古谷野淳子<sup>3,4)</sup>、矢永由里子<sup>3,5)</sup>、鈴木葉子<sup>3,6)</sup>、紅林洋子<sup>3,7)</sup>、村上典子<sup>3,8)</sup>

1) 大阪医療センター

2) エイズ予防財団

3) ネットワーク医療と人権専門家相談員

4) 新潟大学医歯学総合病院

5) 慶應大学医学部感染制御センター

6) 滋賀県健康医療福祉部

7) 沼津市立病院

8) 神戸赤十字病院



# (一般演題) 口演

■日時：12月1日(火) 9:30~10:10

■会場：第4会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアノース)

## 048 臨床：母子感染 1

座長 喜多恒和

(奈良県総合医療センター産婦人科)

吉野直人

(岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野)

## 048-227 HIV 感染児における神経学的予後の検討

田中瑞恵<sup>1)</sup>、飯田敏晴<sup>2)</sup>、川崎洋平<sup>3)</sup>、  
外川正生<sup>4)</sup>、塚原優己<sup>4)</sup>、吉野直人<sup>4)</sup>、  
喜多恒和<sup>4)</sup>、佐藤典子<sup>1)</sup>、五石圭司<sup>1)</sup>、  
細川真一<sup>1)</sup>、山中純子<sup>1)</sup>、瓜生英子<sup>1)</sup>、  
山田 浩<sup>3)</sup>、菊池 嘉<sup>5)</sup>、岡 慎一<sup>5)</sup>、  
松下竹次<sup>1)</sup>、七野浩之<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター小児科
- 2) 山梨英和大学人間文化学部
- 3) 静岡県立大学薬学部薬学科医薬品情報解析学分野
- 4) エイズ対策研究事業「HIV感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班
- 5) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

## 048-228 新生児における AZT および AZT リン酸化物濃度と副作用の関係

木内 英<sup>1)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>、細川真一<sup>3)</sup>、  
田中瑞恵<sup>3)</sup>、中西美紗緒<sup>4)</sup>、定月みゆき<sup>4)</sup>、  
瀧永博之<sup>1)</sup>、矢野 哲<sup>4)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、  
岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 慶應義塾大学医学部微生物・免疫学教室
- 3) 国立国際医療研究センター病院小児科
- 4) 国立国際医療研究センター病院産婦人科

## 048-229 HIV 感染判明後の妊娠における治療と転帰の現状

杉浦 敦<sup>1,2)</sup>、市田宏司<sup>2)</sup>、石橋理子<sup>2)</sup>、  
中西美紗緒<sup>2)</sup>、箕浦茂樹<sup>2)</sup>、松田秀雄<sup>2)</sup>、  
高野政志<sup>2)</sup>、桃原祥人<sup>2)</sup>、小林裕幸<sup>2)</sup>、  
佐久本薫<sup>2)</sup>、太田 寛<sup>2)</sup>、藤田 綾<sup>2)</sup>、  
高橋尚子<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、  
外川正生<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 奈良県総合医療センター
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染妊婦に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

## 048-230 キャリーオーバーした HIV 母子感染患者における問題点

東出侑子、酒井好幸、依田弥奈子、  
堤 裕幸

札幌医科大学小児科学講座

■日時：12月1日(火) 10:10~10:50

■会場：第4会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアノース)

## 049 臨床：母子感染 2

座長 外川正生

(大阪市立総合医療センター小児総合診療科・小児救急科)

久慈直昭

(東京医科大学病院産科・婦人科)

## 049-231 母親が妊娠、HIV 感染ともに自覚のないまま墜落分娩に至ったものの児への HIV 感染を回避し得た一例

古賀一郎、妹尾和憲、北沢貴利、太田康男

帝京大学医学部内科学講座

## 049-232 妊婦 HIV スクリーニング検査実施率の推移と検査未実施事由

吉野直人<sup>1,2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>1,2)</sup>、  
伊藤由子<sup>2)</sup>、杉山 徹<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、  
谷口晴記<sup>2)</sup>、蓮尾泰之<sup>2)</sup>、稲葉憲之<sup>2)</sup>、  
和田裕一<sup>2)</sup>、塚原優己<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染妊婦に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

## 049-233 ACC における HIV 感染合併妊娠・出産事例の社会・経済的背景の検討

木下真里、小山美紀、阿部直美、  
鈴木ひとみ、杉野祐子、大金美和、  
池田和子、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

## 049-234 妊娠におけるラルテグラビル使用経験：症例報告

八坂謙一郎<sup>1,3)</sup>、石橋幹雄<sup>2)</sup>、三浦美穂<sup>3)</sup>、  
富永正樹<sup>4)</sup>

- 1) 久留米大学病院感染制御科
- 2) 久留米大学病院薬学部
- 3) 久留米大学病院感染制御部
- 4) 久留米大学呼吸器・神経・膠原病内科

# (一般演題) 口演

■日時：12月1日(火) 10:50~11:30

■会場：第4会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアノース)

## 050 臨床：看護3

座長 長與由紀子

(NHO九州医療センター感染対策室)

杉野祐子

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

■日時：12月1日(火) 11:30~12:00

■会場：第4会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアノース)

## 051 臨床：看護4

座長 川口 玲

(新潟大学医歯学総合病院感染管理部)

竹林早苗

(横浜市立大学附属病院看護部)

050-235 HIV 関連悪性リンパ腫患者の看護—患者の  
治療意欲を支える援助—

原嶋夏美、及川真理子、有馬美奈

がん・感染症センター都立駒込病院

050-236 ボディイメージの変化に不安を抱えたカ  
ポジ肉腫患者に対する関わり

柳沼久美子

がん感染症センター都立駒込病院

050-237 HIV 感染症に合併した進行性多巣性白質  
脳症患者のスピリチュアルペイン—村田  
理論による—考察—

川又美波、有馬美奈

がん・感染症センター都立駒込病院

050-238 HIV 関連 Bukitt リンパ腫、PML 疑い患  
者の在宅療養支援への取り組み

宮城京子<sup>1)</sup>、前田サオリ<sup>1)</sup>、石郷岡美穂<sup>1)</sup>、  
大城市子<sup>1)</sup>、辺土名優美子<sup>1)</sup>、上 薫<sup>2)</sup>、  
諸見牧子<sup>1)</sup>、仲村秀太<sup>2)</sup>、健山正男<sup>2)</sup>、  
藤田次郎<sup>2)</sup>

1) 琉球大学医学部附属病院

2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器  
内科学

051-239 メンタルヘルスに問題のある患者の受診  
支援を通して

前田サオリ<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>1)</sup>、健山正男<sup>2)</sup>、  
仲村秀太<sup>2)</sup>、小橋川文江<sup>1)</sup>、諸見牧子<sup>1)</sup>、  
石郷岡美穂<sup>1)</sup>、辺土名優美子<sup>1)</sup>、  
大城市子<sup>1)</sup>、上 薫<sup>1)</sup>

1) 琉球大学医学部附属病院

2) 同大学医学部研究科感染症・呼吸器・内科学講座

051-240 死亡退院時の他者への HIV 打ち明け

石井祥子<sup>1)</sup>、宮村麻理<sup>2)</sup>、小宮山優佳<sup>2)</sup>、  
服部久恵<sup>2)</sup>、池田和子<sup>3)</sup>、照屋勝治<sup>3)</sup>、  
菊池 嘉<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院感染症看護専門看護師

2) 国立国際医療研究センター病院12階東病棟

3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発セ  
ンター

051-241 当院通院中の65歳以上のHIV陽性者の  
療養生活上の課題

関矢早苗<sup>1)</sup>、原嶋夏美<sup>1)</sup>、小嶋道子<sup>2)</sup>、  
今村遼子<sup>2)</sup>、竹田眞澄<sup>2)</sup>、菊池由生子<sup>2)</sup>、  
佐々木秀悟<sup>3)</sup>、柳澤如樹<sup>3)</sup>、菅沼明彦<sup>3)</sup>、  
今村顕史<sup>3)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院看護部

2) 同医療相談係

3) 同感染症科

■日時：12月1日(火) 14:40~15:30

■会場：第4会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアノース)

## 052 臨床：日和見感染2

座長 堀場昌英

(東埼玉病院呼吸器科)

永井英明

(東京病院呼吸器センター)

052-242 粟粒結核、結核性リンパ節炎、頭蓋内結核腫を合併した HIV 感染症の1例

田中 勝<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、池内和彦<sup>1)</sup>、  
福島一彰<sup>1)</sup>、錦 信吾<sup>1)</sup>、佐々木秀悟<sup>1)</sup>、  
関谷紀貴<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、  
今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院  
2) 同臨床検査科

052-243 非結核性抗酸菌性脊椎炎を呈した HIV 感染者の一例

高濱宗一郎<sup>1)</sup>、郭 悠<sup>1)</sup>、南 留美<sup>1)</sup>、  
山地由恵<sup>1)</sup>、犬丸真司<sup>1)</sup>、長與由紀子<sup>1)</sup>、  
城崎真弓<sup>1)</sup>、山本政弘<sup>1)</sup>、宮崎 清<sup>2)</sup>、  
小原伸夫<sup>2)</sup>、宮崎泰彦<sup>3)</sup>

1) 九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター  
2) 九州医療センター整形外科  
3) 大分県立病院輸血部

052-244 抗 HIV 療法時代の HIV 合併播種性非結核性抗酸菌症—無菌部位からの培養陽性例の検討—

小林鉄郎、西島 健、照屋勝治、  
上村 悠、柳川泰昭、小林泰一郎、  
水島大輔、青木孝弘、渡辺恒二、  
木内 英、本田元人、田沼順子、  
塚田訓久、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

052-245 ニューモシスチス肺炎を合併した HIV 感染症例における難治化の要因

堀場昌英<sup>1)</sup>、廣瀬友城<sup>1)</sup>、森田暁壮<sup>1)</sup>、  
中野滋文<sup>1)</sup>、諸井文子<sup>1)</sup>、二見仁康<sup>1)</sup>、  
高杉知明<sup>1)</sup>、桑田加奈子<sup>2)</sup>、鈴木清美<sup>2)</sup>

1) 東埼玉病院呼吸器科  
2) 東埼玉病院看護部

052-246 ニューモシスチス肺炎の迅速診断：うがい液を用いて行う迅速遺伝子診断の展望

黒川敦志<sup>1)</sup>、河野修一<sup>1)</sup>、今井一男<sup>1)</sup>、  
田村信介<sup>2)</sup>、前田卓哉<sup>1)</sup>、藤倉雄二<sup>1)</sup>、  
川名明彦<sup>1)</sup>

1) 防衛医科大学校感染症・呼吸器内科  
2) 防衛医科大学校小児科

■日時：12月1日(火) 15:30~16:10

■会場：第4会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアノース)

## 053 臨床：日和見感染3

座長 南 留美

(九州医療センター免疫感染症科)

田邊嘉也

(新潟大学歯学総合病院感染管理部)

053-247 HIV 感染者における血中 EB ウイルス量の動態に関する検討

村田昌之<sup>1)</sup>、加勢田富士子<sup>1)</sup>、志水元洋<sup>1)</sup>、  
迎 はる<sup>1)</sup>、豊田一弘<sup>1)</sup>、小川栄一<sup>1)</sup>、  
江藤義隆<sup>1)</sup>、古庄憲浩<sup>1)</sup>、林 純<sup>2)</sup>

1) 九州大学病院総合診療科  
2) 原土井病院九州総合診療センター

053-248 HIV-1 感染者でのサイトメガロウイルス感染症における血中抗原価の有用性の検討

大谷眞智子、村松 崇、横田和久、  
備後真登、四本美保子、上久保淑子、  
近澤悠志、一木昭人、清田育男、  
萩原 剛、山元泰之、鈴木隆史、  
天野景裕、福武勝幸

東京医科大学臨床検査医学科

053-249 職員に対しての抗 HIV 薬による曝露後予防内服についての検討

渡邊珠代<sup>1,2)</sup>、石原正志<sup>1,3)</sup>、林 寛子<sup>3)</sup>、  
松岡梨恵<sup>3)</sup>、鶴見広美<sup>1)</sup>、鶴見 寿<sup>1,4)</sup>、  
村上啓雄<sup>2)</sup>

1) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター  
2) 岐阜大学医学部附属病院生体支援センター  
3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部  
4) 岐阜大学医学部附属病院血液内科

053-250 血液曝露時の HIV 迅速検査で偽陽性を示した 2 例の検討

山内 恵<sup>1)</sup>、伊佐和貴<sup>1)</sup>、石原美紀<sup>1)</sup>、  
島袋末美<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>2)</sup>、前田サオリ<sup>2)</sup>、  
健山正男<sup>3)</sup>、藤田次郎<sup>3)</sup>、前田士郎<sup>1)</sup>

1) 琉球大学医学部附属病院検査・輸血部  
2) 琉球大学医学部附属病院看護部  
3) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学

054-254 アタザナビルからドルテグラビルへ変更し約 1 年後に尿路結石を再発した症例

備後真登<sup>1)</sup>、石尾瑛子<sup>1)</sup>、大谷眞智子<sup>1)</sup>、  
上久保淑子<sup>1)</sup>、一木昭人<sup>1)</sup>、近澤悠志<sup>1)</sup>、  
横田和久<sup>1)</sup>、村松 崇<sup>1)</sup>、四本美保子<sup>1)</sup>、  
萩原 剛<sup>1)</sup>、山元泰之<sup>1)</sup>、鈴木隆史<sup>1)</sup>、  
天野景裕<sup>1,2)</sup>、福武勝幸<sup>1,2)</sup>

1) 東京医科大学臨床検査医学分野  
2) 東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座

■日時：12月1日(火) 8:40~9:40

■会場：第5会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアサウス)

## 054 要望演題：症例報告

座長 中田浩智

(熊本大学医学部附属病院感染免疫診療部)

宇野健司

(奈良県立医科大学感染症センター)

054-255 AIDS に合併する進行性多巣性白質脳症に対するメフロキン塩酸塩の効果に関する検討

長 盛親、前田卓哉、三木田馨、  
藤倉雄二、川名明彦

防衛医科大学校感染症・呼吸器内科

054-256 臍帯血移植により良好な経過が得られた HIV 関連非ホジキンリンパ腫の 1 例

河合 伸<sup>1)</sup>、佐野彰彦<sup>1)</sup>、佐野麻里子<sup>2)</sup>、  
佐藤範英<sup>3)</sup>、高山信之<sup>3)</sup>

1) 杏林大学医学部総合医療学教室感染症科  
2) 杏林大学医学部附属病院看護部  
3) 杏林大学医学部第二内科学教室血液内科

054-251 急性 HIV 感染に伴う血球貪食症候群に対して DTG+TDF/FTC による ART が奏功した HIV 感染症の 1 例

小川孔幸<sup>1)</sup>、柳澤邦雄<sup>1)</sup>、石崎卓馬<sup>1)</sup>、  
三原正大<sup>1)</sup>、内藤千晶<sup>1)</sup>、半田 寛<sup>1)</sup>、  
石崎芳美<sup>2)</sup>、兒玉智子<sup>3)</sup>、合田 史<sup>4)</sup>、  
内海英貴<sup>5)</sup>、野島美久<sup>1)</sup>

1) 群馬大学医学部附属病院血液内科/群馬大学大学院医学系研究科生体統御内科  
2) 群馬大学医学部附属病院看護部  
3) 群馬大学医学部附属病院薬剤部  
4) 高崎総合医療センター総合診療科  
5) 社団日高会白根クリニック

■日時：12月1日(火) 9:40~10:20

■会場：第5会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアサウス)

## 055 要望演題：HAND1

座長 高田清式

(愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター)

遠藤知之

(北海道大学病院血液内科)

054-252 経腸栄養下 DRV 投与が有効であった食道瘻を伴う粟粒結核合併 AIDS の一例

水野菜穂子<sup>1)</sup>、小林正行<sup>2)</sup>、原島伸一<sup>3)</sup>、  
近藤祥司<sup>3)</sup>、尾崎淳子<sup>4)</sup>、辻 秀美<sup>1)</sup>、  
幣憲一郎<sup>1)</sup>、稲垣暢也<sup>3)</sup>、高折晃史<sup>2)</sup>

1) 京都大学医学部附属病院疾患栄養治療部  
2) 同血液・腫瘍内科  
3) 同糖尿病・内分泌・栄養内科  
4) 同薬剤部

054-253 Ritonavir-boosted PI から Dolutegravir へのキードラッグ変更により抗精神病薬の調整に難渋した症例

佐藤麻希<sup>1)</sup>、早川史織<sup>1)</sup>、増田純一<sup>1)</sup>、  
柳川泰昭<sup>2)</sup>、和泉啓司郎<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、  
岡 慎一<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部  
2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

055-257 FDG PET による HIV 陽性患者の脳糖代謝変化

諸岡 都<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>2)</sup>、石井賢二<sup>3)</sup>、  
窪田和雄<sup>1)</sup>、小松賢亮<sup>2)</sup>、仲里 愛<sup>2)</sup>、  
渡辺愛祈<sup>2)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、亀山征史<sup>1)</sup>、  
南本亮吾<sup>1)</sup>、野口智幸<sup>4)</sup>、塚田訓久<sup>2)</sup>、  
瀧永博之<sup>2)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、矢崎博久<sup>2)</sup>、  
本田元人<sup>2)</sup>、青木孝弘<sup>2)</sup>、木内 英<sup>2)</sup>、  
西島 健<sup>2)</sup>、小形幹子<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター放射線核医学科  
2) 国立国際医療研究センターACC  
3) 東京都健康長寿医療センター  
4) 国立国際医療研究センター放射線診断科

# (一般演題) 口演

055-258 HIV 感染者における頭部 MRI スクリーニング検査の有用性に関する検討

錦 信吾<sup>1)</sup>、佐々木秀悟<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、  
柳澤如樹<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>3)</sup>、  
今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科  
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科  
3) 東京都保健医療公社豊島病院

055-259 HIV 関連神経認知障害 (HAND) における髄液中のネオプテリン量と ART 後の変化

高田清式<sup>1)</sup>、山之内純<sup>2)</sup>、末盛浩一郎<sup>2)</sup>、  
村上雄一<sup>2)</sup>、中西英元<sup>2)</sup>、安川正貴<sup>2)</sup>、  
中尾 綾<sup>2)</sup>、辻井智明<sup>3)</sup>、西川典子<sup>3)</sup>、  
木村博史<sup>4)</sup>、井門敬子<sup>4)</sup>、藤原光子<sup>5)</sup>、  
中村真理子<sup>5)</sup>、小野恵子<sup>6)</sup>、若松 綾<sup>6)</sup>

1) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター  
2) 愛媛大学医学部附属病院第一内科  
3) 愛媛大学医学部附属病院薬物療法・神経内科  
4) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部  
5) 愛媛大学医学部附属病院看護部  
6) 愛媛大学医学部附属病院総合医療サポートセンター

055-260 miR125b の HIV 感染患者における CNS マーカーとしての可能性

郭 悠<sup>1,2)</sup>、小松真梨子<sup>2)</sup>、辻麻理子<sup>2)</sup>、  
阪木淳子<sup>2)</sup>、曾我真千恵<sup>2)</sup>、犬丸真司<sup>2)</sup>、  
山地由恵<sup>2)</sup>、高濱宗一郎<sup>1,2)</sup>、南 留美<sup>1,2)</sup>、  
山本政弘<sup>1,2)</sup>

1) 九州医療センター免疫感染症科  
2) 九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター

■日時：12月1日(火) 10:20~11:00

■会場：第5会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアサウス)

## 056 要望演題：HAND2

座長 木内 英

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

辻麻理子

(九州医療センター)

056-261 認知機能低下から HAND を疑い検査を進め、その原因が判明した HIV 感染例

齊藤誠司<sup>1,3)</sup>、土肥栄祐<sup>2)</sup>、飯塚暁子<sup>3)</sup>、  
木梨貴博<sup>3)</sup>、濱野有里<sup>3)</sup>、大山紗よ子<sup>3)</sup>、  
坂田達朗<sup>3)</sup>

1) 広島大学病院輸血部/エイズ医療対策室  
2) 県立広島病院神経内科  
3) 福山医療センターHIV診療科

056-262 HAD2 症例を通してみる地域医療の役割  
土谷良樹、武田悟秋

東葛病院総合内科

056-263 HIV 母子感染 6 例における認知機能の特徴

飯田敏晴<sup>1,5,6)</sup>、田中瑞恵<sup>2,6)</sup>、小松賢亮<sup>3)</sup>、  
佐々木真里<sup>2)</sup>、川崎洋平<sup>4)</sup>、菊池 嘉<sup>3)</sup>、  
岡 慎一<sup>3)</sup>、七野浩之<sup>2)</sup>

1) 山梨英和大学人間文化学部人間文化学科  
2) 国立国際医療研究センター病院小児科  
3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター  
4) 静岡県立大学薬学部薬学科  
5) 国立国際医療研究センター病院精神科  
6) エイズ対策実用化研究事業「HIV母子感染児における神経学的予後についての研究」班

056-264 HIV 関連認知障害 (HAND) 症例への神経心理学的検査と支援

城田陽子<sup>1)</sup>、柳澤邦雄<sup>2)</sup>、小川孔幸<sup>2)</sup>、  
半田 寛<sup>2)</sup>、石崎芳美<sup>3)</sup>、兒玉智子<sup>4)</sup>、  
合田 史<sup>5)</sup>、内海英貴<sup>6)</sup>、野島美久<sup>2)</sup>

1) 群馬大学医学部附属病院患者支援センター  
2) 群馬大学医学部附属病院血液内科/群馬大学大学院医学系研究科生体統御内科  
3) 群馬大学医学部附属病院看護部  
4) 群馬大学医学部附属病院薬剤部  
5) 高崎総合医療センター総合診療科  
6) 社団日高会白根クリニック

■日時：12月1日(火) 11:00~12:00

■会場：第5会場(東京ドームホテル  
B1F シンシアサウス)

## 057 要望演題：検査・相談体制

座長 吉村和久

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

生島 嗣

(ぶれいす東京)

057-265 東京都内公的検査機関における HIV 陽性例の解析 (2007-2014 年)

長島真美、根岸あかね、北村有里恵、  
吉田 勲、原田幸子、猪又英美子、  
秋場哲哉、貞升健志

東京都健康安全研究センター微生物部

057-266 新規 HIV 感染者における年次別感染初期割合の推移

近藤真規子<sup>1)</sup>、佐野貴子<sup>1)</sup>、井戸田一朗<sup>2)</sup>、  
山中 晃<sup>3)</sup>、川畑拓也<sup>4)</sup>、森 治代<sup>4)</sup>、  
岩室紳也<sup>5)</sup>、吉村幸浩<sup>6)</sup>、立川夏夫<sup>6)</sup>、  
今井光信<sup>7)</sup>、加藤真吾<sup>8)</sup>

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) しらかば診療所
- 3) 新宿東口クリニック
- 4) 大阪府立公衆衛生研究所
- 5) 厚木市立病院
- 6) 横浜国立市民病院
- 7) 田園調布学園大学
- 8) 慶應義塾大学医学部

057-267 民間検査センターにおける HIV 検査の実施状況に関する調査

佐野貴子<sup>1)</sup>、近藤真規子<sup>1)</sup>、須藤弘二<sup>2)</sup>、  
今井光信<sup>3)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 3) 田園調布学園大学

057-268 MSM 向け HIV 即日抗体検査における急性感染期の抗体陰性例の検出

川畑拓也<sup>1)</sup>、森 治代<sup>1)</sup>、小島洋子<sup>1)</sup>、  
駒野 淳<sup>2)</sup>、古林敬一<sup>3)</sup>、岩佐 厚<sup>4)</sup>、  
田端運久<sup>5)</sup>、亀岡 博<sup>6)</sup>、中村幸生<sup>7)</sup>、  
杉本賢治<sup>8)</sup>、近藤雅彦<sup>9)</sup>、高田昌彦<sup>10)</sup>、  
菅野展史<sup>11)</sup>、塩野徳史<sup>12,13)</sup>、柴田敏之<sup>14)</sup>

- 1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
- 2) 名古屋医療センター
- 3) そねざき古林診療所
- 4) 岩佐クリニック
- 5) 田端医院
- 6) 亀岡クリニック
- 7) 中村クリニック
- 8) 京橋杉本クリニック
- 9) 近藤クリニック
- 10) 高田泌尿器科
- 11) 菅野クリニック
- 12) MASH大阪
- 13) 名古屋市立大看護学部
- 14) 大阪府健康医療部医療対策課

057-269 HIV 検査相談の研修をデザインするということ—その 2 仕上げの試行と総括について—

矢永由里子<sup>1)</sup>、渡久山朝裕<sup>2)</sup>、井村弘子<sup>3)</sup>、  
紅林洋子<sup>4)</sup>、平塚信子<sup>5)</sup>、光畑知佐子<sup>6)</sup>、  
平良勝也<sup>7)</sup>、長谷川直樹<sup>1)</sup>、岩田 敏<sup>8)</sup>、  
加藤真吾<sup>9)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 2) 沖縄県立看護大学
- 3) 沖縄国際大学
- 4) 沼津市立病院
- 5) 滋賀県健康医療福祉部
- 6) 高知大学病院
- 7) 沖縄県保健医療部
- 8) 慶應義塾大学医学部感染症学教室
- 9) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

057-270 HIV 検査を受検した知識・性行動・相談ニーズの調査から見えてきたこと

嶋田憲司<sup>1)</sup>、藤部荒術<sup>1)</sup>、河口和也<sup>2)</sup>、  
高嶋能文<sup>3)</sup>、飯塚信吾<sup>1)</sup>、太田昌二<sup>1)</sup>、  
新美 広<sup>1)</sup>、橋本広志<sup>1)</sup>

- 1) 動くゲイとレズビアンのか (アカー)
- 2) 広島修道大学
- 3) 社団めぐみ会自由が丘メディカルプラザ2小児科